

# JERCO REPORT



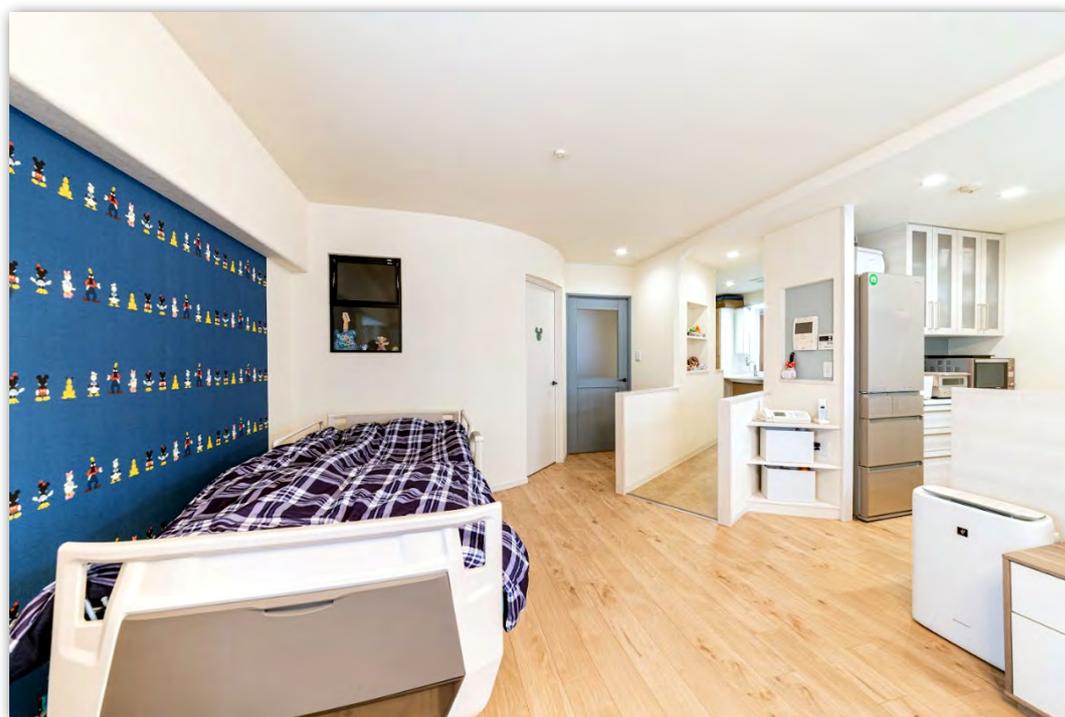
質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する。

【2024年 受賞作品 全国最優秀賞】

住み慣れた我が家をバリアフリー化。

これからの家族の為のリノベーション

(株)ゆめや



【巻頭カラー】 ジェルコリフォームコンテスト2024 入賞作品紹介

【年頭所感】 ジェルコ 盛会長 新春メッセージ

【ジェルコ活動紹介】 命を守る「ひと部屋」の確保を

【ジェルコ活動紹介】 「職人大激減時代」解決のカギは二刀流「多能工」

JERCO

# 将来のリフォーム事業者へ ジェルコからのメッセージ

## JERCO VISION 2030

質の高いリフォームを提供し、  
事業者の明るい未来を創造する

私たちジェルコは、1983年に誕生した日本で初めての全国組織のリフォーム事業者団体です。発足以来、業界の健全な発展と企業経営の安定・成長のために活動し、近年は消費者のための安心安全リフォームの実現に向けて、国や関連団体等と協力、アライアンスを組み力強く推進しています。（各団体等とのアライアンスについては巻末に掲載）

しかし、昨今は空き家問題、自然災害多発など、改めて消費者の住まいへの関心が高まっており、従来型のリフォームでは対応出来なくなりつつあります。そのため、私たちリフォーム業界自身も、環境激変を乗り越える明るい将来像を見定めることが出来ない状況です。人口減少、高齢社会、そして加速する高度テクノロジーなど、予見できない未来にリフォーム事業者もジェルコもどのように事業の展開・発展を描いて行けばよいのでしょうか。

「ジェルコビジョン2030」は、この目の前の大きな社会変化にどう応えどう行動するか、ジェルコの新たな対応と行動指針をまとめたものです。

そして、この成果をジェルコ会員が享受できるよう「質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する」を大テーマに掲げ、今後の10年を活動していきます。またビジョン達成のため、具体的な活動として「専門性と学び」、「多様性ある交流」、「組織強化」の3つの柱を全国で展開していきます。

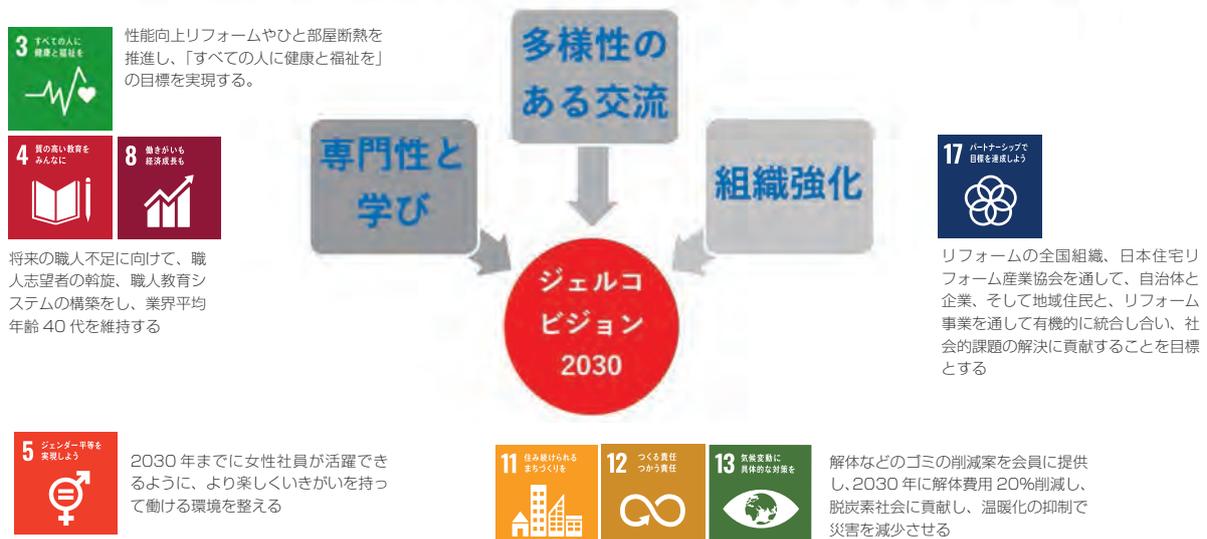
ジェルコ会員をはじめとして、全国の関係団体、リフォーム事業者の皆様の「ジェルコビジョン2030」へのご理解とご協力、ご支援を頂きます様お願い申し上げます。

（ジェルコビジョンの詳しい内容はHPをご覧ください（<https://www.jerco.or.jp/about/vision/>）



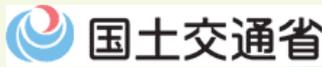
## ジェルコ活動の3つの柱とSDGsへの連携

しっかり学び・しっかり交流し・しっかりした組織で支える



# ジェルコの組織・活動は、行政や様々な関連団体などに支援・協力をいただいています。

ジェルコは長年の活動から国土交通省、経済産業省をはじめ行政・公的機関等の認定、支援を受けると共に、全国の住宅関連団体等と協力関係を築き様々な活動を行ってきました。これらの行政・公的機関・住宅関連団体はジェルコにとって大きなアライアンスの輪となっています。



国土交通省  
ジェルコ発足以来、長年にわたり我々の活動を見守っていただいています。同省の各種補助事業に参加し、最近では住宅リフォーム事業者団体登録制度の認定団体となっています。



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry  
ジェルコリフォームコンテストではビジネス部門に対し経済産業大臣賞を頂いています。同省もジェルコ発足以来、活動にご理解を頂き、住宅省エネ関連の補助金等で支援いただいています。

## 公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター

住宅リフォーム全般にわたる公的機関として様々な仕事をしています。ジェルコと同時期にスタートした歴史があり、長年にわたり協力関係にあります。増改築相談員制度の運営を行っており、ジェルコは長年その実施機関です。またジェルコは理事となっています。



一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会  
リフォームに関わる全国の行政、業界団体で組織されている団体で、消費者・事業者双方にとって有益かつ健全なリフォーム市場の形成を目指しています。ジェルコも加盟しており協力しています。

## ジェルコリフォームコンテスト

## コレカラ

## みんなのミカタ

## 第1種会員



一般社団法人 ベターライフリフォーム協会  
住宅設備メーカー等が地域リフォーム事業者とともに消費者の安全・安心、快適で便利なリフォームを推進。ジェルコ会員も多数いて共に活動している

## 北海道支部

## 関東甲信越支部

## 東北支部

## 中部北陸支部

## 特別会員

## 第2種会員

快適な住空間をめざして  
**ALIA**  
Association of Living Amenity  
一般社団法人リビングアメニティ協会 (ALIA) は、住宅設備、建材関連企業等の団体。ジェルコの2,3種会員も多く加盟しており、情報交流等をしている

## 九州支部

## 近畿支部

## 沖縄支部

## 中国四国支部



一般社団法人 木耐協  
木造住宅の耐震診断、耐震補強を実施。研修会等で工務店・リフォーム会社等の耐震診断・補強レベル向上を目指している。ジェルコ会員である。



公益社団法人 インテリア産業協会  
インテリアコーディネーター等の資格認定や育成を行う団体。ジェルコも団体会員で活動している。各種の資格やインテリア関連の普及に協力している。

## 第4種会員

## 第3種会員

## ジェルコ総合補償制度

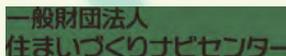


一般社団法人 長寿命住宅普及協会  
良質で長寿命な住宅のための認定・価値表示保証事業を行う団体。ジェルコの安心R住宅等でも協力関係にある。

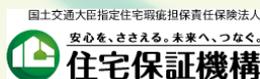
## 安心R住宅

## VEC 塩ビ工業・環境協会

VEC 塩ビ工業・環境協会  
リフォームの全国組織、日本住宅リフォーム産業協会を通して、自治体と企業、そして地機的に統合し合い、社会的課題の解決に貢献することを目標とする



一般財団法人 住まいづくりナビセンター  
一般消費者に安心・納得の住まいづくりをプロのアドバイスをやっている。公正中立な立場からリフォーム会社を紹介する「リフォーム評価ナビ」を運営。



国土交通大臣指定住宅瑕疵担保責任保険法人  
安心を、ささえる。未来へ、つなぐ。  
住宅瑕疵担保責任保険法人。まもりすまい保険、まもりすまいリフォーム保険などで、ジェルコ会員の利用も多い。



けんさんきょう 建産協  
Japan Construction Material & Housing Equipment Industries Federation  
一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会。建材・設備メーカー等の最大団体。リフォーム市場拡大とともにジェルコとの交流を活発に行っている。



一般社団法人  
日本住宅リフォーム産業協会

**JERCO  
REPORT**  
No.295

発行日 2025年 1 月 (創刊 1985年 1 月)  
発行所 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-7-1 宝ビル本館 5F  
TEL : 03-5541-6050 FAX : 03-5541-0127 URL : <http://www.jerco.or.jp>  
年間購読料 一部 / 500 円 (税込)

# ジェルコリフォームコンテスト 2024

## デザイン部門 受賞作品



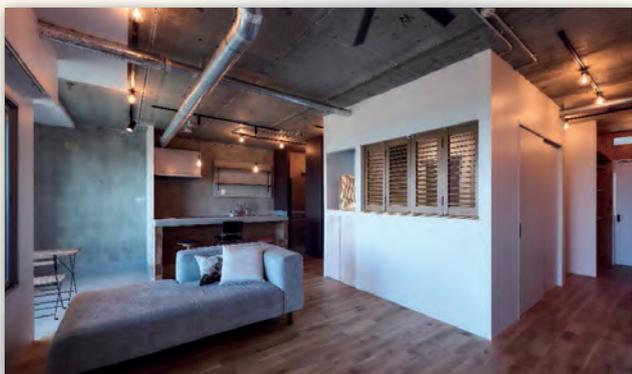
### 全国最優秀賞

「住み慣れた我が家をバリアフリー化。  
これからの家族の為のリノベーション」  
(株)ゆめや

《審査委員講評》 車椅子生活に対応するためにマンション内の住戸をバリアフリー化した作品。排水経路のために一段上がっている水回りへのスロープを部屋の壁に対して角度を振って見事に納めたプランに審査員一同驚かされた。今後の手本となるであろうプランニングであった。

JERCO Reform





住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞  
 「ビューバスはビューサニタリーへ  
 - リノベーションだからできる価値観の転換 -」  
 アイエスジー(株)



《審査委員講評》 タイトルから惹きつけられたが、まさにリノベーションだからできる価値観の転換です。注目のサニタリーを劇的に転換させ、生活様式も価値観も変えていく力を持った作品です。コアを作ることにより回遊動線、ビューの開放、インナーテラス、玄関からの二方向誘導と続々と整っていく様子が見事です。

住宅リフォーム推進協議会会長賞  
 「二百年の風雪を乗り越えしこの骨組みを、誰が軽んじん」  
 (株)サンプロ SUNPRO DESIGN WORKS

《審査委員講評》 タイトルの通り、二百年間家族の生活を見守り続けた骨組み、上空を飛び交う梁や鴨居に誘導されつつ、現代の生活に寄り添う空間は秀逸です。既存の間取りをなぞるように丁寧に組み込まれた生活の居場所は、まるで時間のトレースでもあるかのようです。既存部材と暮らしのマッチングは美しく、丁寧に残された階段や格子窓もその役目を大きく担っています。特に、鴨居を残しながら縁側を室内に取り込んだことによって生まれたグラデーションは、リフォームならではのデザインといえます。庭、外界との重なりも心地よい空間です。新築と迷われた最終決断。このリフォームへの意気込みを受けた困難かつ、有意義な仕事の跡が見て取れます。



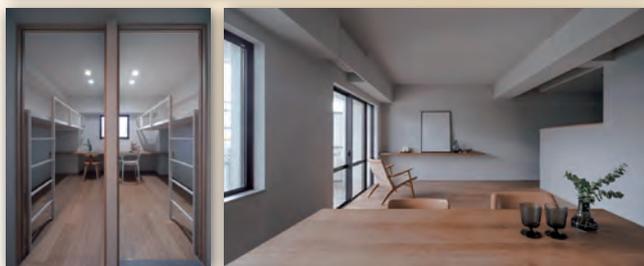
**最優秀賞《戸建て部門》**  
**「リフォームで『全館空調』への挑戦」**  
 (株)サンプロ SUNPRO DESIGN WORKS

Design Contest 2012

《審査委員講評》 大きな家の一部を減築し、温熱性能を高め、全館空調とした作品。大胆な減築をした後に形作った大屋根の形状が、減築していない部分の屋根と見事に呼応。周辺の家並みにも馴染んでいそうな見事なデザインだと感心した。温熱環境の改善が住まい手の健康に寄与している点も評価した。



Design Contest 2012



**最優秀賞《マンション部門》**  
**「尾張旭の家**  
**～暮らしを豊かにするリノベーション～」**  
 (株)ラ・カーサ

《審査委員講評》 キッチンと風呂を住戸の真ん中に置いたマンションリノベ。従前のプランに比べて格段に広く感じることができる。家族の集まる空間を大きく取りつつ、小さなコーナーも作るなど、プランニングが秀逸。質感のある木とマットな白塗装でまとめたことで光も美しく感じることができる。

**最優秀賞《リビングダイニング部門》**  
**「ニューヨークから里山へ**  
**～自然を身近に感じて暮らしを楽しむ～」**  
 喜多ハウジング(株) キタデザインチーム

《審査委員講評》 断熱をしっかりすれば自然の懷に、快適な住まいを得ることができます。今は技術も製品も目を見張るほどの進歩をしており、それを享受しないのは勿体無いことです。本作品は角をうまく使いより開放感を得ています。景色は何よりのインテリア。外と中が一体となり広がる空間は、都心では得られない宝物。四季折々の風景、毎日の陽の巡り、贅沢で穏やかな時間が流れる羨ましい作品です。リフォームを渋っている方がいたら、ぜひ見て頂きたい作品です。





最優秀賞《キッチン部門》  
「ネコ+2人=共存キッチン」  
(株)OKUTA LOHAS studio デザインチーム

《審査委員講評》 アイアンとガラスの間仕切りでキッチンを囲んだ作品。ネコにいたずらをされないように囲む必要があったようであるが、キッチンからダイニングへと仕切りをまたいでレンガタイルの壁が連続することで、部屋をおおきくみせることに成功している。ここ数年、時折見かけるようになったガラスで仕切るキッチンの好例と言える。

最優秀賞《サニタリー部門》  
「～建具による境界線の排除～  
リフォームとネットショップのこれからのカタチ」  
(株)土屋ホームトピア

《審査委員講評》 驚きは、宅内の建具はユニットバスのドアとトイレの引き戸のみ。トイレの配置を盾として視線を制御する設計は、建具の排除を心地よさに変えています。ホール2に設けられた窓の位置、サイズも納得で、単なる廊下ではなく、機能を持たせた空間となっていることも豊かさを生んでいます。パブリックな空間からプライベートへの切り替えを、建具を排除した状態で成立させている手法は素晴らしく、長さのある家屋のポテンシャルをさらに生かしていると言えます。そして、スムーズな人の動きが想像できます。また、セレクトショップでのお買い物をしながらの打ち合わせもいいですね。楽しそうな風景が浮かんできます。



最優秀賞《個室部門》  
「古き良き日本文化に浸る癒しの空間」  
(株)ヨネダ リフォーム事業部



《審査委員講評》 茅葺き屋根の棟を宿泊のための個室にした作品。古いものを最大限に活用している。茅葺きを見事に修繕し、インテリアではその小屋組を天井の再利用した煤竹（すすたけ）の間から垣間見せる工夫に魅了された。リノベーションでしか作り得ない贅沢な空間となっている。



**最優秀賞《外まわり部門》**  
**「ウッドデッキのリバーサイドテラス」**  
 (株)ワイドアルミ

《審査委員講評》 エントリーの少なかつた外回り部門、唯一の入賞作品は審査員満場一致での受賞です。見た目の美しさもさることながら、敷地の有効活用、既存部との取り合い、機能性、飛躍感と語り出せばキリがないほどの優秀さです。急斜面な法面を持つ敷地

は、隣接する川の景観を有効に取り入れることが困難、法面にせり出すことによって川の上に浮くような居場所を確保できています。川の流れるような方向性の確保とも言えそうです。まさに、困難な工事だったかと思えます。生活の豊かさも飛躍的に変わったことと思えます。

**最優秀賞《玄関・ホール部門》**  
**「余白が生み出す『ひかり』と『ゆとり』」**  
 ホームテック(株)エントリエ

《審査委員講評》 今まで数々の玄関スタイルの変遷（特にコロナ後）がありましたが、「これって、マンション玄関の最終形では」との審査員の声も挙がるほど。機能+美しさに加え、玄関が居場所になりうるという可能性を見ました。秀逸は玄関入って正面にも見てとれます。LDKから光を取り込む薄いフレームのドア、なめるように光を受け流すR壁、Rと呼応する愛犬のためのトンネル、袖壁に守られた手洗い、コーナーの余白、などなど。シンプルで丁寧な仕上げの選択があつてこそ、このアシンメトリーな空間が生き生きとしています。いくつかの目線の選択があるこの交差点のような玄関が施工主曰く「嫌だったことは全部解決しました。」の言葉をもたらしたのでしょう。素晴らしいの一言です。



**《ユーザーフォト部門》**  
**最優秀賞**  
**「可愛い私のお部屋うれしい！**  
**大工さんだいすき！」**  
 (株)アルファテック

# ジェルコリフォームコンテスト 2024 デザイン部門 上位3賞 受賞者の声

## 全国最優秀賞

(株)ゆめや 松長麻也さん



この度はこのような名誉ある賞に選んで頂きありがとうございます。  
一報を知った時はスタッフ共々とても驚きました。  
今回の工事はマンションでよくある水回りとの段差をどの様にして解消するかというリフォーム設計にとって難題の一つが最大のテーマでした。  
間取りを変える事は生活を変える事で、それはある人にとっては人生を変えるほど重要な変化になるのだと常々思いながらプランをしています。特に今回のお施主の様に身体に不自由がある場合、その影響は計り知れないほどです。  
何としても、このリフォームでご家族が安心して暮らせるそんな家になりたい！と、強く思った事を覚えています。  
今回の賞はプランの閃きを評価して頂いたのではないかと思います。お客様の強い要望とそれに応えたいという気持ちが閃きをもたらしたのだと感じます。  
これからも施主様により満足して頂ける家作りを目指して精進して参ります。

## 住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞 アイエスジー(株) 品川正俊さん・松浦ありささん



この度はこのような栄えある賞を頂きましてありがとうございました。  
この「ビューバスからビューサニタリーへ」はお客様のユニットバス交換依頼から始まる作廢生・説破で、ビューバスという価値観への問いかけから始まり、この家の本当の価値は眺望にあり、浴室の移動→サニタリーの重要性→全面改修の提案へとつながる物語でした。  
お客様の価値を伝える為にプレゼンボードの中央に最愛の景色を載せたのですが、そこを審査員の皆様方に最も評価を頂き、価値の共有をできた事が最大の喜びです。  
今回で6年連続7回目の受賞となりましたが、今後もお客様との物語を少しでも多くの方に共有できるコンテスト出品になるよう精進する所存です。

## 住宅リフォーム推進協議会会長賞 (株)サンプロ SUNPRO DESIGN WORKS



このたびは、ジェルコリフォームコンテストにおいて住宅リフォーム推進協議会会長賞をいただくことができ、大変光栄に存じます。  
「二百年の骨組み」をテーマに、お客様の理想の住まいを実現するため、設計から施工まで全力で取り組ませていただきました。このような形で評価をいただけたことは、スタッフ一同の大きな励みとなります。  
リフォームでしか実現できないデザインや既存との融合、外部との繋がりが、間取りの制約以上の成果をもたらした建物の価値を向上できたプロジェクトになりました。寒さの厳しい長野県で、古民家であっても快適に暮らせるような温熱環境の改善も今後のリフォームには非常に大切だと感じております。  
これからも、お客様の期待を超えるリフォームを提供し、さらなる技術力とデザイン力の向上に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

# JERCO REPORT

一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会 (JERCO)

## CONTENTS

No.295 2025年 リニューアル第43号

ジェルコリフォームコンテスト2024 最優秀作(12作品)と審査員講評	3
ジェルコリフォームコンテスト2024 上位3賞受賞者の声	8
CONTENTS / 巻頭コラム	9
会長 新・春・メ・ッ・セ・ー・ジ	10
国土交通省・経済産業省 各局長 年頭所感	12
全国8支部長&5委員長 年頭所感	14
ジェルコリフォームコンテスト2024 表彰式	22
ジェルコリフォームコンテスト2024 デザイン部門 審査員講評	23
ますます大盛況のジェルコまちイベント	34
命を守る「ひと部屋」の確保を ～なぜジェルコは「ひとへや断熱」を推移新するのか～	36
「職人大激減時代」解決のカギは二刀流「多能工」～優秀リフォーム技能者勉強会～	38
住生活月間にて盛(前) 会長が国土交通大臣功労者表彰を受ける	40
2・3・4種会員PRコーナー	41
<最新版> ジェルコサービスファイル	42
新入会員紹介	44

### ■□■ 巻頭コラム 「AI 元年」

本部事務局 安藤正朗

ジェルコ本部事務局の安藤です、本年もよろしくお願  
いいたします。

「昭和100年」「放送100年」など、さまざまな節目  
ともなる2025年ですが、一方で新たな幕開けになる  
という意味では、今年が正真正銘の「AI元年」になる  
のではないかと考えています。

ここ数年は毎年のように「AI元年」と呼ばれてきま  
ましたが、一般人レベルが有効に活用できるサービスが完  
全に生まれたとは言えず、また「まだまだAIは分かっ  
てないな。人間の方が上だな」と感じる場面も多く、ヘ  
ンな優越感を得ることもできた状態だったと思います。  
しかし、AIは着実に進化しています。安全性に最大限  
配慮した運転AIが登場し、公共機関の自動運転が実証  
実験に入るなど、今年からは人間が手を加えなくても完  
全にAIにお任せできる環境が整ってきているように思  
います。

もう一つ驚いたことですが、なんと現在では、「ブラ

ウザ上で動作するテトリスのゲームをプログラミングし  
て」と指示するだけで、AIがゲームのプログラムを一  
つ組んでくれるのだそうです。これはもう、プログラ  
マーでさえ淘汰される時代になったということではな  
いでしょうか？怖い、怖すぎる…

近い将来、何かを右から左へ受け渡すような単純作業  
はもちろん、「論理(logic)」を多用するような業務さ  
えもAIにお任せすることになったとしたら、人間は何  
を仕事としていけば良いのでしょうか？その答えをAI  
に聞いたところ、「創造性を活かす仕事」「人間関係を  
築く仕事」「複雑な問題を解決する仕事」が挙げられる  
そうです。今のうちから「感性」を鍛え、「共感」を得  
られるような仕事ができる人間になっておかなければな  
あ、と改めて感じた次第です。

さてここまでお読みいただいた皆さんに問題です。上  
記の文章は人間(安藤)が書いたものでしょうか？…そ  
れともAIが書いたものでしょうか？



2025 会長 新・春・メ・ッ・セ・ー・ジ

# リフォーム事業を通じた 社会貢献を目指して



一般社団法人  
日本住宅リフォーム産業協会  
会長 望月 俊彦

皆さま明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

去年は新しい年の始まり元旦に能登半島地震が発生を致しました。その後の豪雨災害も重なり今も尚苦しい日常に置かれております。被災をされた方々には心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復興と、平穏な日々が戻る事を心より願っております。

さてジェルコは昨年創立40周年を迎えました。定時総会に合わせて行われた創立40周年記念式典には、全国

から沢山の会員が集い交流と学びを深めるエールの交換がなされ、大変賑々しくパワフルな会となりました。会場を埋め尽くす会員・ジェルコに関連する方々の熱気は40年間のジェルコの歴史そのもので圧巻の光景でした。会場には来れなかった、これまで支えて下さった皆様の事も想像しながら深く感謝を申し上げますと共に、これから先我々の目指す未来へ向けしっかりと歩んでゆかねばと感じた次第です。

今期より会長職を拝命し、目下推進中であるジェルコビジョン2030。『質

の高いリフォームを提供し、事業者の『明るい未来を創造する』この理念を浸透させ『良質なリフォームで社会貢献し、すべての人の豊かな生活を実現します』という新たに掲げた新ジェルコ宣言を皆様へ周知し、実践して行くことが未来への誓いとなります。高い技術力（ワーク）と健全な事業運営（経営）を実現させ、リフォーム事業を通じて社会貢献していくために会員各社が研鑽していくことを目指します。

新たに迎える2025年は大きな変化の年となって行きます。我々が従事する住宅産業でみれば、建築基準法の改正による4号特例の廃止、省エネ基準の適合義務化などが控えております。当然リフォーム事業者にとっても大きな変化となり、今後の事業展開に大きくかかわる事となります。また、人口減少・少子高齢化社会の到来、自然災害の頻発・激甚化。住まいや地域の安全・安心の確保が求められ、急速な技術革新やデジタル化、働き方改革も進展しております。決して他人事ではなくしっかりと対応して行くことが求められます。ジェルコ会員企業間での学びと交流を通じ、課題の共有と解決への糸口を各会員に合わせた形で実現させていく事が必要となります。

また、2050年カーボンニュートラル、世界的な社会課題となっております地球温暖化、脱炭素社会の実現へ向

けては、既存住宅の断熱化への取組を強化し、《大規模改修リノベーション》における住宅の高断熱化だけでなく、主要な生活空間だけを断熱化する《エリア断熱》や、多くの費用をかけず幅広い方々へ暖かく健康的に過ごせる《ひと部屋断熱》の開発なども推進し、補助金を活用して広く活用できる取組をさらに強化してまいります。

全国団体だからこそ出来る取り組みに力を入れ、会員企業の持続可能な事業運営を支援すると共に、その支援を通じて各地域で活躍する事業者が社会貢献していけるようにと考えております。今を生きるものとして未来へつなぐ責任を受け止め、業界の更なる発展に取り組んでまいりますので、皆様の引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。

2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」で、柔軟性と適応力を象徴する「乙」と、再生と変化を意味する蛇を表す「巳」が組み合わせられています。この年は、努力を重ねて物事を安定させる縁起の良い年とされております。ジェルコ会員企業の皆様にとっても、そしてジェルコにとっても、これまで誠実に直向きに取り組んでこられたことが、この大きな変化の波に合わせてしっかりと実を結ぶ年となるでしょう。新しい年が実り多き豊かな一年となりますようにご祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

## 国土交通省 住宅局長 楠田幹人

令和7年の年頭にあたり、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から国土交通行政、とりわけ住宅・建築行政の推進に御支援・御協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

住まいは生活の基盤であり、国民一人ひとりが豊かさを実感しながら安心して暮らしていく上で必要不可欠であるとともに、くつろぎや自己実現、家族団らんのための空間としても重要な役割を担っています。このため、良質な住宅ストックを形成し、子育て世帯や高齢者などあらゆる方々の居住ニーズに応えるとともに、人口減少や少子高齢化、人手不足、働き方改革、気候変動などの社会情勢の変化に対しても機動的かつ的確に対応していくことが求められています。

また、将来世代に継承するに相応しい良質なストックを形成するには、高い性能の住宅への新築・建替え、リフォームによる性能向上、空き家対策の三本柱を総合的かつ強力で推進する必要があります。こうした基本的課題に適切に対応できるよう、本年も全力で取り組んでまいります。

さて、昨年、能登半島地震をはじめ、その被災地を襲った9月の豪雨災害など、各地で大規模な災害が相次ぎました。改めて災害により亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。被災自治体と連携を密にし、被災者に寄り添いながら、住宅の再建や改修等への支援、災害公営住宅の整備など、恒久的な住まいの確保に向けてしっかり取り組んでまいります。

また、能登半島地震を踏まえ、住宅の耐震化もさらに推進していく必要があります。耐震改修に係る補助限度額を引き上げるとともに、住宅金融支援機構の「リ・バース60」を活用した高齢者向けの耐震改修融資の無利子化等を行うなど、耐震性が不十分な住宅ストックの早期解消を目指してまいります。

日本経済がデフレ脱却という時代の転換点を迎え、住宅価格が上昇し、金利の先高感も強まっている中で、一人ひとりの暮らしにおいては、実質所得の伸び悩みや生活費の負担増加などにより、住宅の選択の幅が狭まりつつあります。子育て世帯をはじめ、誰もが希望する住宅を安心して選択できる環境を整備することは喫緊の課題と考えています。このため、令和7年度与党税制改正大綱において、住宅ローン減税における子育て世帯等の借入限度額の上乗せ措置や床面積要件の緩和措置の維持など、住宅関係税制の延長等を盛り込んでいただくとともに、令和6年度補正予算において「子育てグリーン住宅支援事業」を創設しました。本事業により、「ZEH水準住宅」に加えて高い省エネ性能を有する「GX志向型住宅」の新築を支援することとし、支援対象として「注文・分譲住宅」のみならず「賃貸住宅」を追加するとともに、既存住宅の省エネリフォームへの支援も強化してまいります。また、これらの支援を環境省、経済産業省と連携して行うことにより、住宅全体の省エネ化の加速につなげてまいります。

この脱炭素社会の実現に関しては、令和4年に成立した改正建築物省エネ法に基づき、今年4月から省エネ基準適合の全面義務化が施行されます。同法の円滑な施行に向け、きめ細かな周知や実施体制の整備、中小事業者の方々の技術力向上といった準備に万全を期してまいります。併せて、新築住宅の省エネ化や既存ストックの省エネリフォーム、炭素固定に資する住宅・建築物における木材利用の促進等を強力で支援してまいります。

さらに、住宅政策の方向性を示す住生活基本計画の見直しに向けて、昨年10月から有識者会議での議論を開始しました。昨今の社会経済情勢の変化や居住ニーズの多様化、住生活を支える担い手の確保や生産性向上の必要性、2050年頃の将来見通し等を踏まえ、今後10年間で取り組む施策の方向性について議論を行い、令和7年度末での改定に向けて検討を深めてまいります。

本年も、国民一人ひとりが真に豊かさを実感でき、安心・安全で魅力ある住生活の実現に向けて、一層の努力をしてまいりますので、皆様の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。



## 経済産業省 製造産業局長 伊吹英明

令和7年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

いま、世界は大きな転換期を迎えています。保護主義の台頭やウクライナ侵攻の長期化等による地政学リスクの高まりや、AI等の技術革新の加速化、気候変動をはじめとした地球規模課題に対する各国政府の関与の強まりなど、様々な構造的変化が生まれています。

こうした中、日本経済も、これまでのコストカット型のデフレ経済から、持続的な賃上げや活発な投資でけん引する成長型経済への転換局面を迎えています。昨年は、1991年以來の高水準の賃上げや、過去最高の設備投資が実現するなど、日本経済に明るい兆しが見られました。他方、足下の物価高を背景に、消費は未だ力強さを欠いています。

本年は、この成長型経済への転換を確実なものとするため、物価高に負けない持続的な賃上げを実現し、これを更なる投資の拡大へと繋げていかなければなりません。そのためには、「GX」「DX」「経済安全保障」の3軸に基づく取組が重要であり、経済産業省製造産業局は、製造業の皆様へのこれらの取組を支援してまいります。

脱炭素社会への移行は「待ったなし」の状況であり、産業界にも変革が求められています。昨年末に案が示されたGX2040ビジョンでは、「GX産業構造」、「GX産業立地」、「GX加速に向けたエネルギー分野」などの取組を総合的に検討し、事業環境の変化が激しい中でも企業の予見可能性を高めてGX投資につなげるべく、より長期的視点に立ち、GX実現に向けた見通しを示しました。

くらし関連部門含んだ重点16分野について、GX経済移行債を活用した先行投資支援の方針を示すとともに、個別分野ごとの支援を進めています。既に、大型革新電炉の設備投資支援に向けたプロジェクト選定や電動車普及に向けた車両導入支援や充電インフラの整備支援などが進んでいます。我が国が世界に先駆けて支援を実施してきた水素についても、技術開発から社会実装まで、引き続き推進してまいります。

近年の生成AIの技術革新と社会受容の加速、そして半導体の高性能化による産業界への影響はより一層大きなものとなり、企業経営や産業構造までもが変化する可能性が開かれています。政府全体としては、世界市場の大きな成長が見込まれるAI・半導体分野について、今後2030年度までに10兆円以上の公的支援を行うこととしています。今後、ターゲット材やPFA樹脂等、半導体を形づくる部素材の製造基盤強化支援をさらに進めてまいります。また、DXを活用した建材・住宅設備のサプライチェーンの物流効率化にも取り組んでいきます。

GXやDXに不可欠な蓄電池やAI、半導体、ロボット及びこれらの製造に使われる部素材や装置は、世界的に覇権争いが激化しており、経済安全保障の観点からも重視されています。政府としては、2022年に成立した経済安全保障推進法を踏まえ、重視すべき物資・技術を「破壊的技術革新が進む領域」、「我が国が技術優位性を持つ領域」、「対外依存の領域」の3つに整理し、それぞれに対して取組の方向性を規定しています。

3つの取組を円滑に進めるために、同志国との連携による国際経済秩序の維持にも取り組んでまいります。あり得る経済的威圧に対する備えとして、G7各国をはじめとする同志国と個別プロジェクトを進めるとともに、実際に威圧を受けた場合は、その影響を緩和するための措置や国際ルールに沿った対応を進めてまいります。

産業界が今直面する課題は、官も民も一歩前に出て取り組まないと解決できないため、国内外で活躍されている産業界の皆様との日々の対話を通じ、将来につながる日本の経済基盤をともに形作っていきたくて考えております。

本年は大阪・関西万博の開催年であり、開催まで約3ヶ月となりました。「未来社会の実験場」として、最先端の技術が集結し、新たな産業の誕生・成長の機会になることを期待しています。ぜひ、ご家族やご友人と一緒に足を運んでいただきますようお願い申し上げます。

最後に、皆様の益々の御発展と、本年が素晴らしい年となることを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。



## 全国の8支部長の新春メッセージ

# 支部活動を今年も活発に！

昨年より支部長を拝命され、必死に支部活動の活性化に励んでまいりました。お陰様で、昨年は新規入会及び、支部会へのリアル参加者も増やすことが出来ました。まだまだ、新谷前支部長の足元にも及びませんが、北海道のリフォーム業界の発展のために精進していきます。

昨年は、新たな試みとして、8支部合同の支部長会セミナーが開催されました。8支部を代表して北海道支部が、講師として「水曜どうでしょうの鈴井貴之さん」をお招きして、全国配信でセミナーを開催し、好評を博しました。

業界関係者の専門的なセミナーも大事ですが、時にはこのような有名人を招き今まで関心がなかった層にジェルコ活動を訴求できたことも収穫となりました。

リフォーム業界全体としては、資材高・人件費アップによる工事代金の上昇が、消費者の購買マインドに大きな影響を及ぼしていることは否定できません。ライバルは同業他社だけでなく、海外旅行やマイカー購入など大型消費もあります。

厳しい環境ではありますが、それぞれの会員各社が切磋琢磨し、競合に負けないよう頑張っていきたいと思えます。本年も北海道支部よろしく願いいたします。



北海道支部長 荒井俊吉

新年明けましておめでとうございます。

昨年中はジェルコ活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

昨年は、子育てエコホームや先進的窓リノベを始めとする各補助金の効果もあり、大変多忙な日々を過ごされたのではないのでしょうか。

今年の東北支部では、支部会員の皆様がジェルコに望んでいることに耳を傾け、それを実現できるような取り組みを行って参りたいと思っております。

また支部の会員数も順調に増えてきておりますので、会員の皆様と一致団結して東北のリフォーム業界を活性化していきたいと思えますので、本年も引き続き宜しく願い申し上げます。



東北支部長 高橋健一

2025年新年明けまして、おめでとうございます。

本年、リフォーム業界は、法改正や市場動向の変化により、大きな転換期を迎えると予測されています。2025年4月に建築基準法が改正され、特にリフォーム・リノベーション分野に影響を与えるとされています。

省エネ基準適合の義務化については新築だけでなく、一部の増築・改修工事にも省エネルギー性能の適合が求められるようになり、4号特例の一部廃止として従来、木造2階建て住宅等に適用されていた設計図書提出省略措置（4号特例）が一部廃止され、詳細な構造計算や設計図書の提出も必要となります。住宅価格や光熱費の高騰を背景に、断熱工事や部分的なリノベーションの需要がますます高まっていく事は間違いありません。大きなチャンスが到来しています。

2025年のリフォーム業界は、法改正や市場ニーズの変化に対応しながら、持続可能な成長を目指す重要な時期となりますが、関東甲信越支部からジェルコ活動を通じて会員の皆様のお役に立てるよう、精進して参ります。本年も宜しくお願い致します。



関東甲信越支部長 山崎昇

新年あけましておめでとうございます。

平素より中部北陸支部の活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。昨年より中部北陸支部は、支部役員体制のリニューアルを行い、より支部活動が活発に出来るよう、活動してまいりました。

昨年は新規会員さんもたくさん増え、支部活動もより活性化できました。まだジェルコの活動になかなか参加できていない会員さん見えるかと思います。中部北陸支部では、そんな会員企業様もいつでもウェルカムですので、是非中部北陸の支部セミナー等にまずは参加してください。

さて、リフォーム業界では4月より4号特例の廃止など、リフォームを取り巻く環境も大きく変化しております。より、差別化できるリフォームや質の高いリフォームが必要になってまいります。

おかげさまで中部北陸支部の会員企業の皆様は、デザインから、断熱、耐震など質の高いリフォームを提供している会社さんが多く、会員同士で情報交換も盛んにおこなわれております。

中部北陸支部でもより質の高いリフォームを提供できるよう、業界発展のために日々勉強をして、情報共有をしてまいります。

本年もよろしくお願いたします。



中部北陸支部長 井上賢一郎

# 年 頭 所 感

新年明けましておめでとうございます。

いつも近畿支部の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は多くの新たな会員を迎え、支部活動が一層活性化した一年となりました。会員の皆様の温かいご支援とご協力のおかげで、支部として数多くの成果を上げられたことに、改めて深く感謝申し上げます。

「4号特例」の廃止や、2050年カーボンニュートラル実現に向けた取り組みが進む中、リフォーム業界はさらなる技術力の向上や省エネリフォームの推進が求められています。本年度もこれらの課題に対応すべく、情報共有や支援体制を一層強化してまいります。また、近畿支部独自の取り組みである、若手社員の活躍・育成を目的とした「Neo Jerco」や、ベテラン会員による支部活動サポートの「シニアジェルコ」などを通じて、幅広い層の会員様が「ジェルコに入って良かった」と感じていただける支部運営を目指してまいります。

本年も引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしく願い申し上げます。



近畿支部長 佐々木俊明

2025年を迎え、年頭のご挨拶を申し上げます。

平素より、中国四国支部の活動にご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、年初より能登半島自身があり、9月には能登で豪雨災害もありました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表します。私たちが建物・住宅のリフォームに携わるものとして考えさせられる1年でもありました。

ジェルコ活動においては、昨年40周年記念式典があり、先輩会員さん達とも久しぶりに会うことが出来、有意義な時間を過ごすことができました。

今年も、近年続いております、物価・資材の高騰、人材不足など厳しい状況が予想されます。また、4月より施行される建築基準法の改正により、我々リフォーム業への影響も出てくるとは思いますが、支部活動・交流を通じて会員の皆様のためになるような運営をして参りたいと思います。

本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。



中国四国支部長 武田幸久

新年あけましておめでとうございます。

昨年大変お世話になりました。

昨年はジェルコデザインコンテストでは九州の三友工務店さんがリビングダイニング部門の全国優秀賞を受賞なさいました。受賞おめでとうございます。

2024年は元旦から能登半島地震にはじまり各地で災害が多い年でした。私の干支の蛇年の今年は平和な一年になるように願っている新春です。

年男の2025年は九州支部をさらに盛り上げていけるように頑張りたいと思います。

また今年は4月1日に建築基準法・建築物省エネ法改正でいろいろ大変になります。施工前にしっかり勉強して対応していきましょう。

2025年度からジェルコの年会費も12万円に値上がりしますが、その分を会員さんにお返し出来るようにいいセミナーを皆さんと考えていきたいと思っています。今年も支部会員さんのお役に立てる一年になるよう頑張っていきます。

本年もジェルコ活動へのご協力よろしく申し上げます。



九州支部長 江田卓宏

新年あけましておめでとうございます。旧年中は支部活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

沖縄県の住宅工事はリフォームより新築の需要の方が圧倒的に多いのが現状ですが、必ずリフォーム工事の割合が増えると思っております。そのためリフォーム事業者も増加しさらに競合が激しくなっていくことが予想されます。ジェルコでは「リフォームの質」を高める学びが多くあります。競合に負けない会社づくりのためにもお客様に必要な情報をしっかり学び発信していくことが重要と考えております。

今年は支部の会員増強に力を入れ組織強化を図りたいと思っております。また、会員同士が交流できる機会を増やすために定例会やセミナー、勉強会を定期的で開催して参ります。本土とは違う沖縄ならではのリフォーム業界の課題を会員同士で問題解決していけるためにも組織強化が必要と考えております。

「ジェルコ会員だから学べた、ジェルコ会員だから出会えた」

今年もジェルコ会員の皆様にとって幸多き年になりますようお祈り申し上げます。



沖縄支部長 高良盛幸

## 5 委員長からの新春メッセージ 時代の変化に対応し業界発展に貢献！！

### ■ジェルコアカデミー委員会■

#### 「ジェルコリフォーム実践の手引き」を構築

新年、あけましておめでとうございます。

ジェルコアカデミー委員会の委員長を仰せつかっております、テオリアハウスクリニックの平です。

昨年4月から装いも新たに立ち上がったこの委員会では、「ジェルコビジョン2030」の推進ガイドラインに則した学びの場を訴求・提供していきます。未経験、未学習な性能向上リフォームの分野であっても、ジェルコ会員が初歩から学べる初級段階のものから、立場や職歴に応じて中級・上級の知識が習得できるものまで追求していきます。最終的には、これらの研修から「ジェルコリフォーム実践の手引き」を構築してまいります。

一方で、就業者不足に悩む今の日本を見据え、リフォーム技能者不足を業界の直近の問題として捉え、今年は優秀リフォーム技能者の認定や表彰を企画・実施します。また、ジェルコインスペクションのこれからを見据えた上で整え、よりジェルコ会員が使いやすいインスペクションの構築を目指します。

それぞれにとっても大きな指標ではありますが、みなさまのご協力を得て、実現に向けて邁進していきたいと思っております。みなさま、本年も何卒よろしく願いいたします。



ジェルコアカデミー委員長  
平 一暁

### ■体制整備委員会■

#### 会員の増強と満足度向上を使命に活動を推進

皆様、新年あけましておめでとうございます。

体制整備委員会の委員長を務めさせております、山口建設の山口と申します。

体制整備委員会は、会員の増強と満足度向上を使命に掲げ、全国の委員の皆様と連携して活動を進めております。

具体的には、各支部での新規加入を目的とした増強セミナーの開催や、入会促進に役立つパンフレットやチラシの作成など、ジェルコの魅力を広く伝える取り組みを行っております。

おかげさまで、これらの活動に加えて、ジェルコ全体での多様な取り組みの成果として、現在の会員数は創立以来過去最高を記録しており、大きな達成感を感じております。しかし、これに満足することなく、ジェルコとしてさらなる成長を目指していく所存です。

2025年も引き続き、ジェルコの魅力を発信し、会員増強を進めるとともに、より充実した取り組みを通じて、会員満足度のさらなる向上を実現したいと考えております。

皆様とともに、ジェルコの未来を切り拓いていけるよう、全力で取り組んでまいりますので、本年も何卒よろしくお願いいたします。



体制整備委員長  
山口 博康

## ■事業開発統括委員会■

### ジェルコの未来の新規事業を創出する

ジェルコ会員の皆様あけましておめでとうございます。事業開発統括委員会、委員長の石原直之です。

この委員会は2024年度4月からスタートした新しい委員会です。簡単に活動内容をお話すると、「つながりノベ」「ひと部屋断熱」「ジェルコSDGs」「ZUTTO安心」の新規事業それぞれのグループリーダーがメンバーで自部門の進捗だけでなく他部門の問題解など行い、以下に記しました活動趣旨を実行してまいります。

【ミッション】事業開発統括委員会はジェルコの未来の新規事業を創出する。

- ① 事業が計画通り進行しているかの確認、進行してい



事業開発統括委員長  
石原 直之

ない場合の問題解決を行います。

- ② 活動進捗状況の定期的な開示を会員に行い、会員の支援を頂けるようにします。
- ③ 新規事業を会員自社の事業にする支援を行います。

2024年度はそれぞれの事業が行政からの支援を頂き、会員や地域にお住いの方にも有益な活動を数多く実施する事が出来ました。断熱、耐震などの性能向上はこれからの住宅建築に携わる事業者には欠かせないものであり、それぞれの地域の中で中核を担うジェルコ会員各社に置かれましても地域にお住いの皆様からの期待も大きくなると思います。

当委員会では前出③にある会員様の事業に役立つ新規事業をこれからも開発、普及、定着支援を行ってまいります。新年度には働き方改革の分野にも注力してまいります。

まだ新しい委員会ですので会員皆様のご提案、ご指摘もお待ちしております！

## ■広報渉外委員会■

### プランニング力向上とリフォームの喜びを発信

ジェルコ会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年度より広報渉外委員長を仰せつかっております金廣です。

日頃は広報渉外活動にご理解、ご支援を賜り誠に有難うございます。年頭にあたり、中核事業であります「リフォームコンテスト」二つの優先課題をお伝えしたいと思います。

先ずデザイン部門、テーマは「コンサルティング力の向上と、プレゼンスキルアップ」。生活者を取り巻く環境は多種多様化しており、お客様の潜在需要の把握と、的確なプレゼンテーション実施が今まで以上に重要な成約ポイントです。

今年度より、ホームページ上に上位入賞作品のプレゼン動画を作品別にアップ致しました。作品に至るまでの背景を学び、コンサルティングのスキル向上に役立てて頂ければと思います。

ユーザーフォト部門は、生活者参加型の仕立てに模様替えを行います。リフォームをした喜びを一枚の写真に収め、生活者と共に広く世間に広めて行けば、リフォーム需要がもっと拡大するのではないか。その様な夢を持って模様替えを行って行きたいと思います。

今年度も皆様と共に学び、共に喜び成長し合える委員会活動を行って行きたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



広報渉外委員長  
金廣 明夫

## ■ジェルこまち委員会■

### 職場での活躍支援につながるイベントを企画

ジェルコ会員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。ジェルこまち委員長の山坂です。

昨年は、ジェルこまちな活動において多大なるご支援を賜り誠にありがとうございました。おかげさまで2024年度は、各支部のジェルこまちイベントも多くの方にご参加いただき、ジェルこまちな認知促進に繋げる活動が出来たと感じております。また、女性活躍支援の柱の一つとして掲げた「えるぼし」認定取得に向けた推進も、セミナーという形式でスタートすることが出来ました。

2025年においても昨年と同様に、会員企業の女性社員の皆さんの交流の場づくりを中心に、各支部の皆様と連携させて頂きながら、より多くの方に交流して頂き、職場での活躍支援につながる有意義なイベントを企画していきたいと考えております。また、望月会長の方針で、ジェルこまち委員会の取り組みに掲げられている「リフォームデザイン・サービスホスピタリティ研究」と「ジェルコSDGsの推進」も委員メンバーと模索しながら準備を進める所存です。

2025年度も、「ジェルコビジョン2030」の3本の柱である『専門性と学び = 多様性ある交流 = 組織強化』の一助となれるよう活動して参ります。

皆様どうぞ本年も「ジェルこまち」の活動に、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。



ジェルこまち委員長  
山坂 麻衣子

## ジェルコリフォームコンテスト 2024 表彰式開催 受賞者への表彰、上位 3 賞のプレゼンテーション、 審査員による講評座談会が行われた



ジェルコリフォームコンテスト 2024 のデザイン部門・ユーザーフォト部門の表彰式が 11 月 19 日東京・西新宿の京王プラザホテルで開催された。

今回でデザイン部門は通算 32 回目の開催となり、デザイン部門は 425 作品の応募総数で 33 作品が入賞、ユーザーフォト部門は 95 作品、入賞 8 作品であった。審査員講評（次頁より）にもあるように年々レベルの高くなってきており今年も力作揃いのコンテストとなった。会場には各賞の受賞者をはじめ会員、関係者など 113 名が出席した。ビジネスモデル部門は隔年開催のため今回はなかった。

表彰式では、先ずジェルコの望月俊彦会長が挨拶に立ち、「受賞されました皆様、本当に心からおめでとうございます。ここ数年作品を見ていて思うのはデザインも勿論ですが、作品の価値を引き出しお客様と共感して作り上げていくという、丁寧な仕事ぶりが見て取れるようになってきました。ジェルコのレベルの高さは、そこなんじゃないかと感じております。ジェルコも新しい期に入りジェルコビジョン 2030 として新たなリフォーム産業の価値を作り出そうという活動しております。お客様との関係性、信頼関係をつくっていくことも非常に高い技術を要しますし、質の高いリフォームとははそれらも大きな要素です」と述べ作品をしっかり学び、明日からお客様サービスにつなげてい

きたいと語った。続いて、来賓として出席した国土交通省住宅局住宅生産課の松野秀生課長と経済産業省製造産業局生活製品課住宅産業室の潮崎雄治室長がそれぞれ挨拶し受賞者へ祝辞を述べた。

表彰状の授与では、各賞の表彰が行われ審査員を務めた玉井清氏と江口恵津子氏等がプレゼンターを務めた。最後に望月会長から(株)ゆめやの松長麻也氏へ全国最優秀賞の表彰状とトロフィーが手渡された。またユーザーフォト部門では(株)アルファテックが最優秀賞の表彰を受けた。

第 2 部では、毎年作品傾向や受賞作の意図や思いが分かると大好評の受賞者プレゼンテーション、審査員講評座談会が今年も開催された。受賞者プレゼンテーションでは全国最優秀賞の(株)ゆめやの松長麻也氏、一般社団法人住宅リフォーム推進協議会会長賞の(株)サンプロの小澤隆氏、公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞の(株)アイエスジーの松浦ありさ氏の 3 氏がプレゼンテーションを行った。審査講評座談会では、審査委員長の宮部浩幸氏が今年の傾向、注目される点などについて一つ一つ作品を示して総評を述べた。また玉井審査員、江口審査員も今年最も注目した点、作品について講評した。作品のリーガルチェックを担当した村上淳史審査員は来年 4 月の建築基準法改正への対応について述べた。

# ■ ジェルコリフォームコンテスト 2024 デザイン部門

## 審査員総評より

### 》》今年の応募作品の傾向 《《 《《 「インクルーシブデザイン」、「外との関係を考えた住宅プラン」、「リノベーションでしか作れない空間」の3つ

今年のジェルコリフォームコンテスト・デザイン部門の表彰式では、上位3賞受賞者のプレゼンテーションと審査員による作品講評が行われ今年の作品傾向が示された。審査委員長・宮部浩幸氏（近畿大学教授）、審査員・玉井清氏（タマイアトリエ一級建築士事務所主宰）、審査員・江口恵津子氏（㈱ヴェルディシモ代表取締役）、構造審査担当の村上淳史氏（村上木構造デザイン室主宰）の4氏が、作品のポイント、新たな視点などを述べた。ここに各審査員の講評等をまとめた。（司会は、菱沼恵美子氏（㈱輝く人生創造戦略研究所）



**菱沼** ジェルコリフォーム 2024 は、良いリフォームとは、単に古いものを新しくするだけでなく、お施主様の潜在的なご要望を引き出し、それに対して魅力的なデザインと機能を両立させ、ライフスタイルそのものを良くしていくことと考えて開催されております。

選考では、社会環境を踏まえた今後のリフォームのあり方を提案している、新しい発想・工夫が盛り込まれている等を重視して審査が行われました。各審査員が応募作品全てをじっくり読み込み、各作品へコメントを記載し、最後に意見交換を行い、各賞が決定されました。

それでは宮部審査委員長より、まず全体総評と作品講評をお願いします。

**宮部** まず初めに受賞者の皆様、この度はおめでとうございます。私の方から今年の審査の総評を述べさせていただきます。

まず最初に言いたいのは、今年は応募作品全般にレベルがとても高かったことです。審査が例年に比べて難しかったと審査員全員で話しておりました。と言いますのも、これまでの作品で度々出てきていた回遊動線とか、家族を見

## 宮部委員長の総評



審査委員長  
宮部浩幸氏

### 例年になく完成度の多寡作品多数 外との様々な関係性を活かす作品の進化

守る位置、玄関の土間空間といったような手法では完成度が高い作品がどんどん増えてきていて、数年前だったら優勝できたようなレベルのものがたくさんありました。今年はその中でもさらに素晴らしいものが選ばれたということです。

昨年の講評で述べた「コロナのお土産」ともいえるヌックとか、玄関横にサニタリーを持ってくるプラン等が、完成度の高いものになっています。こうした皆さんのレベルアップの現状を前提に、リフォーム・リノベーションの今後を考える時が来ているのではないかと思います。

そこで今年の応募作品から今後のリフォーム・リノベーションを考える上で大切だと思われたものを3つピックアップしてみました。まず1つ目は「インクルーシブデザイン」、次が「外との関係を考えた住宅プラン」、3つ目が「リノベーションでしか作れない空間」です。

まず「インクルーシブデザイン」ですが、介護であると



◀全国部門別最優秀賞・戸建て部門の「リフォームで「全館空調」への挑戦」

か車いす生活に対応したものであるとかを意識した作品が複数出てきていました。今年はデザインの方でも結構レベルアップしたのが見られました。全国最優秀賞の作品は、車いす、介護というキーワードに対応した見事なデザインです。

次は全国部門別最優秀賞【戸建て部門】(株サンプロ)の作品例です。ビフォーとアフターを見比べると、大きく変わったのが2階の形です。2階の大屋根が既存の部分ととても馴染んでいて目を引いていたんですが、よくよく説明を見ていくと温熱環境を整えることで、お母さんの薬が減ったという健康を意識したデザインだと分かりました。これも重要なポイントだと思います。

「外との関係性を考えた住宅プラン」では、ここ数年家の内と外との関係について講評してきましたが今年もいくつも出てきています。総じて言うとインテリアに視点が置かれる傾向があるコンテストの中で、外のことまで考えているのは、まだそんなに多くありません。ここで取り上げたいのは、室内のことだけでなく外との環境を考えているものとか、外との関係性の中で様々な形がイノベーションとしてできていることを指摘したいと思います。

3つ目は、ちょっと変なポイントかもしれませんが、応募作品シートに大きな風景の写真が貼られている。これはインテリアでも建築でもない外の写真なんです。住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞(アイエスジー株)の作品は、風景を見るための場所を作っていることがプレゼンテーションから伝わってきました。審査員一同さ



◀全国優秀賞・戸建て部門の「子育て世代応援間取り」



◀全国部門別最優秀賞・リビングダイニング部門の「ニューヨークから里山へ」自然を身近に感じて暮らしを楽しもう

らにプランを読み込んで、わざわざビューバスを取り去って、眺めがいいことを楽しめることにジャストフィットするプランに変えたという部分を評価しました。こういった外にある環境をうまく動かすことで、建物だけでは出せない価値が出てくるんじゃないかと思います。

全国部門別最優秀賞【リビングダイニング部門】(喜多ハウジング株)の作品例では、庭が建物の左上と右下に2つあって、両方の外の緑が見えるよう壁を抜いたプランです。元々の平面図を見ると決してそんな抜け感がある家ではなかったんです。これも外にどういう空間が控えているかを読み解いた上で、この二面から風景が飛び込んでくるようなリビング・タイミングを作り出しています。これは外に対応した形のリノベーションと言えると思います。さらに増えてくるといいんじゃないかなと思っています

また全国優秀賞【戸建て部門】(株 CONY JAPAN)の作品例では、ビフォーでは西にリビングがあったものがアフターではリビングが東側に移動しています。これは庭とのつながりを意識して、思い切って生活の中心になる部屋を入れ替えるという大胆な考え方で、こちらとても興味深く見させていただきました。

全国優秀賞【マンション部門】(江中建設株)の作品例では、大きなマンションの1部屋リノベーションです。リビングの一部で床や天井、壁の仕上げをテラスに出ていく手前のところを切り替えていて、とても印象的でした。そこには縁側という名前が付いていました。こういうふうに関係性をうまく作り出す中間領域を集合住宅の中を作るというデザインが優れており、これも受賞作の中に選ばれることになりました。

全国部門別最優秀賞【玄関・ホール部門】(ホームテック株 エントリエ)の作品例では、一見何が外と関係があるのかというマンションの玄関リフォームですが、実は玄関の左側に昔部屋だったところに窓があったのですが、その窓の部分と玄関とを一体化したスペースに変えた。これによって玄関、つまりマンションの廊下側の方にある光を玄関ドアを閉めても廊下や玄関の室内部分に光が入ってくるような状態を作り出している。これはなかなか巧みなプラ



◀ 全国優秀賞・マンション部門の「ジャパンディスタイルの家」外国人向け賃貸物件の改修工事

ンニングだと思いました。もちろん奥は収納にしたり性能面もしっかり行われていて、外の光の環境をうまく取り入れることができているところに審査員の注目が集まりました。

「イノベーションでしか作れない空間」としては、皆さんの応募作品を見ると、もはや従来の形に戻すという意味合いのリフォームではなく、新しい価値を生み出せるイノベーションという領域になっています。ここではリノベーションでしか作れないということに注目してみました。

まず「旧に新を取り込んで生まれるグラデーション」ですが、古いものを主として新しいものが従になるような、昔は何もしてないんじゃないかと見えそうなデザインをうまく使っていること、それから修繕と再利用の工夫で作る贅沢な空間ということです。住宅リフォーム推進協会会長賞（㈱サンプロ）の作品例では、古民家ということで性能面で不安がありました、それを払拭してしっかりした住環境を作っているという点が評価されました。どうしても性能面を補強していくと古いものが覆い隠されていきがちなんですが、ここでは古い構造が主役になって文化をつくっているところが注目されました。もともと大きなきれいな格子のついた窓があったのですが、断熱性能から見ると昔の建具は劣るわけですので、それに新しいガラスの建具で挟み込んで、昔の建具をそのまま活かすということをしたのが分かりました。こういう古いものを大事にしているという価値をお客さんと分かち合っているということも、とても素晴らしいなと思いました。

また全国部門別最優秀賞【個室部門】（㈱ヨネダ）の作品例です。茅葺屋根という最近全く見かけなくなったものを見事に再生している。こういう古いものを生かすからこそそのリフォームでの表現だと思います。インテリアは、天井に煤竹という説明がありましたが、これは元々あったものを使ったと書いてあり、現場では捨てられてしまうようなものも、ちゃんと活躍できる場所を見つけて使っていく姿勢が素晴らしいと思いました。さらに小屋裏の電気をつけると小屋組みが見えるとのことで、ぜひそのシェイプを見たいと思いました。



◀ 全国部門別最優秀賞・玄関・ホール部門の「余白が生み出す「ひかり」と「ゆとり」」



◀ 全国部門別最優秀賞・個室部門の「古き良き日本文化に浸る癒しの空間」

次は全国特別優秀賞【災害復興賞】（喜多ハウジング㈱）の作品例ですが、水害にあった家を再生したものです。災害の記憶は辛い思い出ですが、ここでのイノベーションでは、水に浸ってしまった跡が柱の部分に残っているのをそのまま残して仕上げたと説明がありました。これはすごく大事なことだと思います。災害の記憶を後世に伝えていく意味もあるし、その時の大変な状況から立ち直って、新しい暮らしを繋いでいった思い出、そういったものが大事にされていくデザインだと思いました。こうしたことはイノベーションでしか作り得ない価値だと思います。その部分を大切にしているというのがとても良かったです。

最後に全国最優秀賞（㈱ゆめや）の作品についての講評を述べさせていただきます。作品で際立った点は、車椅子



◀ 全国特別優秀賞・災害復興賞の「水害被害で強くなった家族のキズナ」



◀全国最優秀賞の「住み慣れた我が家をバリアフリー化。これからの家族のためのリノベーション」

の対応、段差の解消と細かい気配りがあったということです。我々が感心したのは新しい観点として、排水経路を収めるという部分とその設けたスロープとが絶妙に関係している点です。これからの流れを感じさせる点はマンション内住戸のバリアフリー化ということで、どうしても水回りでは段差ができる場所があって難しいと思われませんが、この作品はとても自然に実現していることに感心しました。面図を見ますと最大の特徴はスロープです。どうしても配管の関係で一段上がってしまう水回りに車いすが入っていきけるように設けているスロープです。これがリビングの方から見ても目立っていない。どうしてもできてしまうコーナー部分を収納に使っていたりとか、とても上手に収まっています。審査員の皆さんが「この向きに来るんだ」というふうにも感嘆の声を上げながらプランを見ていました。

### 玉井委員の個別講評



審査員  
玉井清氏

### ジェルコの作品は特殊解から一般解へ「時間の重なり」の未条件を活かした作品

菱沼 次は玉井審査員にお話しいただきます。講評作品は一般社団法人住宅リフォーム推進協議会会長賞です。玉井審査員、よろしくお願いたします。

玉井 この一般社団法人住宅リフォーム推進協議会会長賞「二百年の風切を乗り越えしこの骨組みを誰が軽んじ

ん」(株サンプロ)という作品は、時間の奥行きみたいなもの、時と生活の重なりみたいなものについてすごく深く考えて考えさせられた作品です。際立った特徴やこれからの流れを感じさせる点では、築二百年ということを考えても、現在と過去、時間の重なりが際立っている作品です。工夫した点を見ても既存の歴史をなぞるように丁寧にプランニングされています。宮部審査委員長のお話にもあり、全ての作品にも言えることなんですが、それぞれの特殊解がまさに一般解になっていく様が見られます。先ほどの介護のプランニングもそうですが、こうした作品は今後のリフォームデザインの一般解になっていくんじゃないかなと思うほどの作品です。

築200年とはどういうことでしょうか。出来たのは1820年代、江戸時代です。11代将軍の家斉のころです。パリピで子供が50人もいるような将軍で、そのような平和な時代に建築された家です。その後四代の将軍が続き明治、大正、昭和、平成、令和とすごく長い時間の流れの中でこの家に関わった人達も沢山いた。私はこれを家の履歴書と呼んでいるんです。どういう人たちがこの家に関わり、どんな形で暮らしてきたのか。その中で建物を変革してきたことを考えると、リフォームは新築とは全く違う分野になってくるんじゃないかと、この作品からは読み取れるのです。

この作品には新旧の融合があり、プランニングをたどっていくと、特にLDKでは梁や鴨居を頼りに、元々の構造体を非常に大切にプランニングされています。これは新旧の融合、構造躯体を手がかりとした現代の暮らしとのマッチングですね。こういう構造体や過去使われていたものををなぞりながら、未来に向かってどういう居場所を作っていくかということですね。作品の写真を見ても分かりますが、上空を飛び交う200年前の梁や鴨居があり、これに誘導されるように生活空間があり、嘗てここに生活があったんだという空想ができます。

鴨居や梁がないとツルンとした一室になってしまいます。空間というのは重なりであり、ここから諏訪湖が見えるとのことですが、この場所からは二百年前の梁越しに御



◀一般社団法人住宅リフォーム推進協議会会長賞の「二百年の風切を乗り越えしこの骨組みを、誰が軽んじん」

## 江口委員の個別講評

神渡りがずっと見えていた。そういうことを思い起こさせるような空間になっています。壊して建て直したら、こうした風景は絶対見ることができない。階段も残しています。この階段は日々使われ、一日に10回昇り降りするとして40年間で14万6000回です。階段の昇り降りをとっても、時間という風景が見られます。階段は目線が変わる場所なので、そういうところを大事にしている。その二百年間の昇り降りの回数を数えてみてください。すごい回数になります。

これがリノベーションを通して、そこに生活し階段を折々昇り降りしてきた人達の生活や思いを感じ大切にしようという気持ちがある、この作品からは非常によく見えてくる。これは、家が生きていると考えると、かつて家が見ていた風景なんですよ。これからもその風景を見ていく、そうした空想の世界も含めて、僕はこれが家の履歴書だと思っています。これからも、そんなリノベーションをしてもらえればいいかなと思います。

今回のそれぞれの作品の特殊解が、徐々にその一つ一つが一般解に育っていくというのが、このジェルコリフォームコンテストのデザインだと思っています。普通、リフォーム・リノベーションでは、お施主さんから「この部屋をこうしたい」とかの設計条件を頂きますが、その他にも未条件というものがあります。私はこの未条件というものを意識して設計しています。未条件というのは、条件にまだなっていないもの、設計しながら発見していくもの、それが未条件です。未条件がなければ時間、空間のデザインはできないのです。お施主様からの要望のチェックボックスを一つ一つ潰していくのがデザインではありません。だから未条件よく考えて設計されているのが今回の受賞作品だと思っています。

この作品のエントリーシートには解体をさせてしまえば、解体費用がこれほどかかりますよということがかかれています。大きな物件なので多分一千万円近くかかるんじゃないかなと思います。こうしたことを考えるだけでも価値ある建物を残せるということは非常に素晴らしいことだと思います。ちょっと講評なのに熱くなりすぎました。地方に行くとやっぱり地域性があり古民家のリノベーションも多いと思います。時間を保持することもリノベーションの仕事として大切です。その点は非常に私たちも勉強をさせてもらっています。私たちも頑張りたいと思います。ありがとうございました。

**菱沼** ありがとうございます。玉井先生は毎年作品の講評では、力がどんどん入ってきて熱量が上がってきます。そのぐらい感激する作品が皆様の作品の中にはとても多いということでございます。



審査員  
江口恵津子氏

## コミュニケーション力が素晴らしい作品 生活様式・価値観も変えていく自由な発想

**菱沼** 続いて江口審査員の講評です。講評作品は、公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞の「ビューバスはビューサニタリーへ、イノベーションだからできる価値観の転換」などです。江口審査員よろしくお願いたします。

**江口** 皆様本当におめでとうございます。お話しする公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞（アイエスジー株）の作品は、お客様の話をよく聞き込んで大胆な提案をしています。そのコミュニケーション力にちょっとびっくりした作品です。まず際立った特徴はサニタリーのコアを作り回遊する。それからビューを解放してインナーテラスも設けてしまう。玄関からは二方向の誘導があるという盛り沢山の内容です。マンションの1つの箱の中で、よくこれだけのことを盛り込んで作られたなと驚きました。ジェルコの皆さんの卓越した研究熱心さを間近に見て来ましたが、この作品は盛りだくさんでありながら、一つのまとまり、安心感を出している作品になりました。

工夫や新しい観点では、サニタリーの劇的展開により生活様式・価値観まで変えていくということです。たぶんこ



公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞の「ビューバスはビューサニタリーへ、イノベーションだからできる価値観の転換」



◀全国優秀賞・玄関・ホール部門  
の「余白の贅沢—サクラテラス—」

のマンションの設計者は、ビューバスをセールスポイントにして値段を高く設定して当初売り出したのかと思います。けれども実際使ってみると、お風呂に入ったてもビューが見えないとか、そういう残念ないろんなことが起きてきた。それを何とか解消しようというお客様の依頼でした。で、よくよくお客様と話し込んでいったら、もうお風呂は浴槽じゃなくてシャワーでいいんじゃないっていう話まで持ってこれたのかと思います。そうするとプランの方向性が大きく広がっていくということになるかと思っています。

リフォームで注目すべき所は、サニタリーという方向性です。何年か前からこうした動きはキッチンの移動が基本でした。暗かった北側のキッチン正面を向けよう、在来工法であればキッチンを真ん中にしていこうというもので、それだけで拍手喝采されたわけです。

今はサニタリーです。皆様の作品を見ると、サニタリー自身が明るく作られるようになり、回遊動線から見ると家の中心になるとすれば、生活はガラッと変わります。よく私は「朝の決心」って言いますが、朝元気に顔を洗って鏡を見て、朝日を光を浴びて体内時計をセットし、さあ今日も頑張るぞという大事な場所がサニタリーです。今までのマンション設計では、キッチン同様サニタリーも暗く狭い場所にありました。ただ用途だけあればいいということでしたが、全く発想が変わってきたのが現代かなと思います。この作品はそれを如実に表してくれています。この住戸はビューバスが設計でのコアでもあり非常に大きなポイントだった。でも実際はそうではなかったので、お施主様とお話を何度もされて、今度はシャワーでいきましようとなったと思います。そして「朝の決心」ができるよう南側に日差しを浴びる洗面台にして、さらに動線よく洗濯物ができるような回遊動線にした。

玄関の方でも、今までは玄関を開けると収納があってもただ真っ暗で、そこを曲がってリビングに入れる形だったものを、扉を開けた時からオープンにしてキッチンに行ってもいいしリビングに行ってもいいし、また奥への動線を通ってもいいという、二方向、三方向の動線とした。だいたい廊下というのはマンションなどの限られた空間では



◀全国特別優秀賞・身内でシェアハウス賞の「ある夫婦の住まいのカタチ〜シェアハウスで、個々を生きる〜」

もったいない部分です。真ん中の廊下の右左に居室があるというのは昔の設計です。今は、廊下も生活空間にしてみようという、まさに廊下を排除したプランと言ってもいいと思います。

さらに外部と接する部分はインナーテラスですね。これは宮部先生が絶賛されていました。家の中に明るい緑があり海の素晴らしい景色を見られる場所があるということです。やっぱり家の内と家の外、インとアウトをバリアフリーにしようというのは大きな課題ですけれども、その外を内に取り込んでしまうという考えも非常に有効になると思います。このような素晴らしい景色ができたのも提案力であったり、コミュニケーション力だと思っています。

今回皆さんの作品を見ていますと、お客様への提案をよくお話をされて、そこからどんどんプランを膨らませていく事例がたくさんありました。特に、全国優秀賞【玄関・ホール部門】(株式会社 OKUTA) の「余白の贅沢—サクラテラス—」という作品では、玄関土間を広くしたのは今まで通りのプランですが、その土間の先に疑似扉があり、この土間は窓から桜を愛でる最高の場所だということです。コミュニケーションがよく取れないお客様であれば、そんなスペースはもったいないから普通は収納にしましようと言われますが、担当者はそこを押し切って「サクラテラス」を作った。その説得力はすごいなと思いました。

もう一つの感心したのは、全国特別優秀賞【身内でシェアハウス賞】(株)カナジュウ・コーポレーション) の「ある夫婦の住まいのカタチ〜シェアハウスで個々を生きる〜」という作品でした。これは全審査員が絶賛です。見た瞬間、すごいなと思いました。家庭内別居なんて古いお話で、やっぱりシェアをしよう、それぞれシェアして自由を生きれる、個々が素晴らしいということです。その中ですごく思ったのは、インテリアの力は無限大というのを実感させていただきました。

このようにお客様とコミュニケーションが良くとれているということは、それぞれの作品作りで優しい心のこもった提案がすべてなのかなと感じました。大変勉強させていただきました。ありがとうございました。

## 村上委員の個別講評



構造審査  
村上淳史氏

### 来年4月木造2階建ては二号建築物へ 大規模改修・模様替えが確認申請対象に

**菱沼** 最後になりますが、村上審査員にお話いただきます。来年の2025年年4月施行の改正建築基準法、改正建築物省エネ法が控えており、業界にとって大変革の年になりますので、時間は短いのですが、出来る限り詳しくお話させていただきます。

**村上** 私は作品のリーガルチェック役ということで、今回審査物件のいろいろなところのチェックを行いました。今回は来年4月に建築基準法の大改正があり、2階建ての物件ではかなり大きな影響を及ぼすと思いますので、そちらについてお話ししたいと思います。

今回の法改正のポイントは木造2階建てに関して、今まで四号建築物だったものが二号建築物というものになり様々な規定の審査が必要になって来ることです。確認申請に色々書類等を出さなければいけなくなります。

今までも増築・改築は当然、確認申請が必要だったのですが、来年4月から2階建ての木造住宅は大規模修繕・模様替えも確認申請の対象となってきます。リフォームでは、大規模の修繕・模様替えというものに大きく関わってくると思っています。例えば外壁とか屋根の改修では、ここまでの改修であれば大規模の修繕・模様替えに該当しませんという範囲が国交省の資料で出ております。詳しくはそちら見ていただくと分かると思うのですが、大規模の修繕・模様替えに該当しないのは下地から上の改修の場合となっています。下地の過半をいじってしまうと大規模な修繕・模様替えの対象となり、確認申請が必要になります。

当初は下地まで改修する予定がなくても、剥がしてみたら野地板が腐っていたり、外壁が腐っていて下地も替えなければいけないとなると、場合によっては確認申請が必要になってしまうケースがでてきます。当然、仕上げを剥がしてみたら確認申請を出すことになる、いろいろ大変になると思いますので、事前の調査が重要なと思いま

す。そこで確認申請を出すときには、当時の基準を守っている物件であれば既存不適格建築物という取扱いになりますが、当時の基準を満たしていない場合は確認申請を出せるかという、それはなかなか難しくなります。

また検査済証の有無も重要となります。昔は検査済証が交付されていない物件が多々あると思いますが、そのような場合どのように手続きを踏んでいくか。これは平成21年の国交省の技術的助言で通達が出ていますが、例えば既存不適格調書というものを作ったり、当時基準を守ってましたという耐震診断や構造計算の証明書類等と一緒に出して、新たな確認申請を出すことをしなければならず、かなり大変な作業になるかなと思います。

新たな確認申請が出せるかどうかというのは、既存の物件がどういう状態なのかということによって変わってきます。場合によっては、一旦当時の基準を満たすような改修を行ってから、新たにリフォームのための確認申請を出さなければいけないという可能性もあります。お施主さんから「検査済証もないし確認申請も出さなくていいよ」って言われても、今後は業者の皆さんが、法的な責任を問われる可能性があります。ですから今後は、まずリフォームする前に確認申請の必要があるのかなのか、主に大規模なリフォームの場合に該当するかと思うのですが、事前の調査がかなり重要になります。当然費用も時間もかかりますが、その物件で確認申請が出せるのかどうか、当時の基準守れるように改修できるのかの判断も必要です。

また確認申請を出す、当然、構造関係規定や防火避難規定などの現行基準を満たさなければいけないので、それらを守れるような改修ができるかということもポイントになります。既存物件を現行基準に合わせられるかどうかというのはリフォームでは問題点が多いと思うので、国交省から何かしら指針が出るのかもしれませんが、ルール通りに行くと、やはり確認申請を出す、まず構造関係規定、防火避難規定の審査というのが出てきます。そのため現行基準を遵守できるのかどうか、確認申請が必要な行為なのかどうかというのを事前に入念な調査をするとか、役所と折衝して既存不適格調書でいいのか、また12条5項などのさまざまな報告の必要性の有無を役所と折衝しながらリフォームしなければならないという形になるかなと思います。

改正基準法の適応は、来年の4月着工からになりますので、そろそろ計画、アプローチしている物件では、改正基準法にかかってくる可能性があります。皆様もぜひ情報を集めながら進めていただきたいと思います。その上で安心安全・快適なリフォームというのは、ジェルコの加盟店企業に頼めば安心だというようなものになっていただければいいと思っています。

# デザイン部門 審査講評

■全国特別優秀賞

- ・災害復興賞
- ・身内でシェアハウス賞

■全国優秀賞

- ・戸建て部門 5作品
- ・マンション部門 4作品
- ・リビングダイニング部門 4作品
- ・キッチン部門 1作品

- ・サニタリー部門 1作品
- ・個室部門 3作品
- ・玄関・ホール部門 2作品

(全国最優秀賞から全国部門別最優秀賞は巻頭カラーページに掲載)

■全国特別優秀賞

【災害復興賞】

「水害被害で強くなった家族のキズナ」

喜多ハウジング株式会社

自然災害が人々の暮らしを否応なしに変えているいまの時代、安心安全な暮らしがより強く求められています。このようにより美しく快適に復旧して頂くリフォームの力は人の心の安定には計り知れないものです。みなさまの勇気と努力に脱帽です。水が来たラインを残している玄関の美しい佇まいと、ご家族の笑顔に感動致しました。



【身内でシェアハウス賞】

「ある夫婦の住まいのカタチ～シェアハウスで”個”を生きる～」

株式会社カナジュウ・コーポレーション

多様性の時代、そんな言葉が頭に浮かびます。リフォームの最先端の形かもしれません。お客様の幸せな住まい方は千差万別ですが、家庭内では誰かが我慢するのは暗黙の了解となっていたようなこれまでの設計提案。シェアハウスを夫婦間という発想から今までにないデザインが生まれました。柔軟な発想力が素晴らしいです。まさにお客様と共に作り上げた作品ですね。インテリアの可能性も

限りなく広げ、設計のこうあるべきも軽々と飛び越える、スカッとして忘れられない作品です。



■全国優秀賞 【戸建て部門】

「モノクロ空間に家族で彩る暮らし」

ホームテック株式会社

まずは、モノクロ画像かとも見まごうほどのモノクロ空間ぶりに目を引かれましたが、回遊動線のプランは秀逸で無駄がないことに気づきます。大回りショートカットを持つ回遊プランはまるで、広場か公園のようでもあり、奥行きと広がりを感じます。愛犬の走り回る姿にも納得です。そして、家族の気配を感じながら、それぞれの時間を過ごす居場所として成立しています。家族の気配がこのモノクローム空間と重なる時、さらに彩られる家族の個性が浮かび上がってくるような気がします。物と人、空間と人の



関係性がより深く感じられる作品です。日常の中でハッとさせられる時間にも出会えそうな空間です。

「10年経っても売れ残っていた中古物件が、「欲しい！買いたい！」に変わった瞬間！」

喜多ハウジング株式会社

まるで変わった外観です。必要に応じて変化する家の究極の形。家そのものが生まれ変わる、これも一つのリフォームの形であり、再生の醍醐味です。

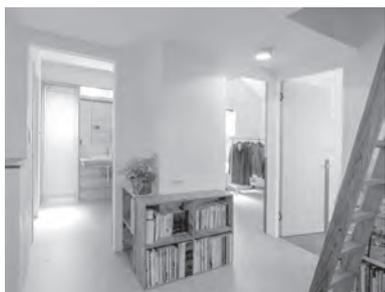


「回遊動線のある家」

ミナミ建築設計室+大幸総合建設株式会社

標準的なハウスメーカーの間取りのリノベーションを、回遊動線プランでまとめた作品。1階2階共回遊動線を採用し、行き止まりの無い居場所を確保しています。回遊動線の特徴としての、一つの空間から2つ以上の空間が見え、生活のシーンが豊かになることがイメージできます。まさに、日常生活を豊かにする装置として生き生きと回遊動線が機能している事例です。特に、1階の小上がりのあるスタディースペースと、2階の図書スペースはよく考えられていて、家族がシェアできる場所を回遊動線に取り込む

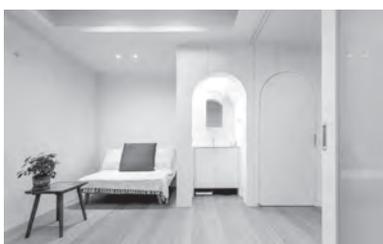
考え方です。コンパクトな中での回遊動線を用いた好例です。



「連棟長屋のポケットリビング」

メラークテクチャー・アキテクト建築研究所 + 株式会社明和建設

京都の連棟長屋の改修事例。1フロア7坪程度の2階建て、コンパクトな居場所のデザインは長屋の外観からは想像できない室内を生み出しています。特に1階の「間（あいだ）」と呼ぶリビングダイニングは洗面とニッチを含んでも6畳。6畳空間の可能性を実感します。引き戸レール、ドア枠、木壁の取まりなど、ディテールにこだわり、凹凸を避けることで生まれる、空間の押し広がりや秀逸です。連続するアーチ状の開口部も一役買っています。リフォーム前の姿からは想像できない変貌ぶりに住まい手の満足感が伝わってきます。



「タ`イニング`から見える青空に恋して  
～子育て世代応援間取り～」

株式会社 CONY JAPAN

東側にある庭を楽しめるように西にあったLDKと西にあった個室を入れ替えるようにプランニングした作品。外環



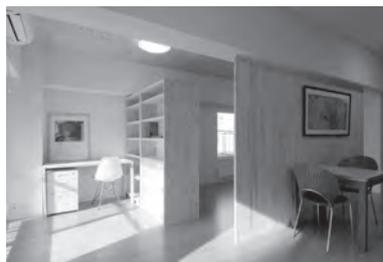
境を含めて既存の配置を読み取り、最善と思える大胆なプラン変更を行っている点を評価した。リビングのトップライトや小屋組現しといったこのプランだからできる天井面の工夫も良かった。

■全国優秀賞 【マンション部門】

「地方都市だからできる提案 価値を再生するMSリノベ（室蘭）」

須藤建設株式会社

北国の冬問題、高齢夫婦の暮らし方にひとつの解決策を示してくれています。よき場所での中古物件、併せてリフォームプラン付きの総額提示。なかなか出費が不安な高齢の方でもきっちり先が見える仕事の仕方がとても素晴らしいと思います。かつ、設計プランも的を得ており断熱性能を叶えてオープンプラン、動線も風通しも明るさも、かつ作り付けの家具や素材も秀逸です。ル・コルビジェが終のすまいとした、ミニマムな機能性住宅を思い出しました。



「ジャパニスタイルの家【外国人向け賃貸物件の改修工事】

nagom+ 江中建設株式会社

外国人向け賃貸物件のリノベーション。254㎡ととても大きな住戸を改修しているが、特にリビングに隣接して「縁側」という室内空間を設けて、屋外空間と段階的につながる空間構成を作った点が評価された。リビングは床が木で、「縁側」は壁と天井が木にして隣接させたことで、まとまりがありつつも変化のあるインテリアとなっている。



「HUG- 可変する田の字間取りの再解釈」  
株式会社たすかけ

引き戸を採用した空間の可変性をテーマにしたマンションの改修事例。古来の田の字平面の再解釈。あえて柱と欄間、袖壁をつくることで、仕切るという所作を積極的にイメージする作品。フルオープン、もしくは引き戸を取り外す（この表現はされていませんが）ことで、スック、洗面までを含めると約30畳の空間が現れることとなります。徐々に引き戸を戻すことで様々なバージョンが生まれることにもなります。時間的経過の中、また生活のシーンで居場所づくりに大いに活躍することと思います。住まい手次第ということもありそうなのが、この作品のいいところでしょうか。経過が気になります。



「Surfer?s Base 海を抱く家」

株式会社フレッシュハウス

お客様の要望がはっきりしており、忠実にかつ提案しながら見事な空間を作り上げています。趣味をよく研究し、吟味されたストレスフリーな動線、眺望を広く取り、鎌倉の地の利を最大限に生かす、素晴らしい設計です。お客様の納得の笑顔が見えるようです。



■全国優秀賞 【リビングダイニング部門】

「稲沢の家 ～集と個が調和する。家族の時間が増えるリノベーション～」

株式会社ラ・カーサ

長細い住宅の奥行きのある空間を活かした内装デザインが見事な作品。ダ

イニングテーブルの天板から作り付けソファの囲いまで連続する木が、室内に広がる水平面を作り出して、空間に一体感を与えている。



「リフォーム後にリノベーション ～憧れの暮らし～」

喜多ハウジング株式会社

コロナ禍以降増えたスツクのある住空間がここまで進化したのかと思わせる完成度の高い作品。スツクの側面に本棚というもう1段階小さい空間をはめ込んでいることで、部屋→スツク→本棚という空間の階層を作り出し、限られた空間に奥深さを与えている点が見事であった。



「母の想いを継いで・・・。」

株式会社土屋ホームトピア

京都の100年の二階屋の再生。家は住む人がいなくなると急に老朽化が加速するといわれます。お母様の香りを繋ぎ、京都の洒落たホテルのような佇まいは姉だけでなく弟も惹きつけ、人も呼ぶ。心の落ち着ける場所を再生できました。この再生を喜んでいるのはお母様だけでなく100年の歴史を見てきた家自身ではないでしょうか？技術的に難しい工事



だったと思いますが、残すべき場を残して、香りを繋ぐリフォーム作品として、賞に相応しいものであると思います。

「本と珈琲とゆったり大人のスローライフ」

株式会社三友工務店

子供たちが巣立った家をゆったりと贅沢につかえるようにした作品。書斎、LDK、キッチンが大きな一つの空間になりつつも、柱や壁で程よく分節されている。大きさや明るさの異なる居場所を選んでゆったりと過ごせる空間ができていた点を評価した。



■全国優秀賞 【キッチン部門】

「キッチンが主役！～空間をプラスして叶えた理想の空間～」

株式会社 OKUTA

ツーバイフォー工法ではなかなか大胆なリフォームが難しいと言われる中、最小限の開放で、明かりを取り入れ新しい生活様式の間取りを実現しました。広い方をリビングに考える常識を破り、お客様ファーストの間取りは使い勝手が良く将来の楽しみも増えます。

特筆すべきところは色使いです。全体のオフホワイトとターコイズブルーのアクセント、収納をチラ見のブルーにしたアイデアは効いています。キッチン床のタイルもイスラムな香りがします。非常にうまいインテリアです。ツーバイフォーでもここまで変わることができることを証明したとして、非常に評価の高



い作品です。

■全国優秀賞 【サニタリー部門】

「廊下に浮かぶスペースサニタリー?!」

株式会社 OKUTA

玄関を入ったところにサニタリーがある。コロナ禍以降に増えてきたプランであるが、これはその中でも目を見張るものがあつた。洗面を玄関前の廊下と一体化しながらも一段上げて浮かすことで洗面コーナーとしての独立性も併せ持たせている。回遊動線と絡めた使いやすいつランニングも良かった。



■全国優秀賞 【個室部門】

「WanWanWanWan House」

株式会社 CONY JAPAN

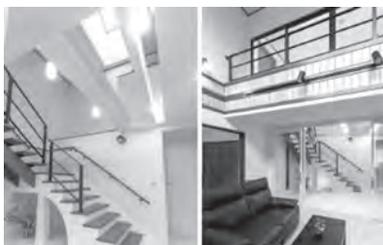
幸せなワンちゃんたちからたくさんの幸せをいただける、ワンちゃんのためのリフォーム。これまでペトリフォームは多々ありましたがここまで徹底して考え実践された作品はなかったかと思ひます。収納付き各部屋の充実、ドッグランを楽しそうに走るワンちゃんを見ていると、人と同じで、家の中と外の融合とか、収納の充実とか、動線の多様性など考える最先端のリフォームは、ワンちゃんにとっても居心地の良いものなのだとわかりました。真剣に向き合うことが、人の暮らしにもよい影響があるのですね。



### 「資産価値を守った中庭ホール」

株式会社土屋ホームトピア

2階の減築を望まれた物件を、資産価値及び環境負荷低減の観点から、減築なくして、住まい手の要望を叶えた事例。「戸建て全面」でのエントリーかと思いきや「個室」エントリー。使わない2階をあえて外気との中間層とする案は、2階を、空気の個室と考えること、また、1階に設えられた「中庭ホール」をパッハズーンとしての、光の個室ととらえることができる。空気と光の二つの「室」を提案できているこの作品は、住まい手の暮らしの基本性能と、経済的環境を守る素晴らしい仕事として評価されました。



### 「ベッドルーム⇄リビング 可変空間へ」

株式会社 OKUTA

築54年、2LDKのマンションをほぼワンルームへと改修。天井のざっくりとした解体痕もチャームングに見えるインテリアは、ご夫婦二人の個性を感じさせます。既存のトイレとPSまわりをぐるりと回遊できるプランは、玄関で、ソファのようなベッドのあるスペースへ向かうドアと、LDKへとストレートにアクセスする方向へと別れている。

個室のような場所は、不思議な曖昧な接続であり、リビングの一角であり、家具のようでもあります。複数の意味と空間が重なるスペースは最高のくつろぎの場なのだろう。住まい手にしか知ることができない心地よい居場所は、最高の贅



沢とも感じる。唯一無二なデザイン。

### ■全国優秀賞 【玄関・ホール部門】

「余白の贅沢 —サクラテラス—」

株式会社 OKUTA

タイトルに惹かれ読み進めると、細部に心配りのある、余裕のある穏やかな空気感に満たされました。玄関横の土間広がり、SICはいまや定番ですが、その桜の窓を生かし奥行きをドアを設置して、フォーカルポイントを作る。一見不要とも思われるこの、サクラテラスの出現が暮らしに想像力とゆとりをもたらします。収納収納と言われがちですが、余白が暮らしと心を豊かにすることを再認識させてくれた作品です。誠に別格の質の高い品のあるリフォームになりました。



### 「想いを受け継ぐ家族みんなの玄関」

株式会社 ファイブセンス

築120年の古民家の改修。ホールと呼ぶ2軒半スクエアの空間は全体の広さの1/4以上に及ぶだろうか。土間エリアには薪ストーブを設え、訪問者を迎える以上に物語を紡ぐ空間として生まれ変わったようだ。一人暮らしとのこと、紡いできた歴史、時間を守る意思を強く感じる空間でもあり、時間と空間の再構築は大成功と言えそうです。人がいて場所があるように、ここ、玄関～土間ホール～ホールへと家族が集うであろう景色に大きな評価が集まりました。



全国各地のジェルこまち活動

## 本部・支部ともジェルこま치의各イベントが大盛況

本部イベントでは「えるぼし認定」研修会に加え「にわとわに」とのコラボイベントを実施

今期から委員会体制となったジェルこまちでは、本部・支部で実施されるイベントがことごとく盛況を博し、会員企業の交流の輪を拡大している。

本部イベントとしては、8月～12月まで3回にわたって実施された「Let'sトライえるぼし」で、女性活躍推進企業の証である「えるぼし認定」を取得するための研修を行った。会員企業の総務・人事担当者を中心に、えるぼし所得企業の話や、社労士による講義に聞き入り、認定取得への足掛かりを得た。

また11月には、日本庭女子会～にわとわに～



「ジェルこまちのお庭探訪feat.にわとわに」では、オンライン中継イベントを実施

とのコラボイベントとして、夕部副会長、野田副委員長がにわとわにメンバーである茨城・鹿嶋市のM'S PLANNINGを訪れ、溝口望代表の自宅・事務所の庭見学をオンライン中継。ジェルコ・に



3回にわたる「Let'sトライえるぼし」で「解説がよく分かる」と好評を得た社労士・吾妻佑紀先生と時田副委員長



近畿支部では平田タイルショールームの見学とセミナーを実施



東北支部はインテリアコーディネーターの実践的なセミナー



北海道支部ではモデルルーム見学会に加え、各種セミナーを実施

わとわに双方の会員に、庭づくりの魅力や、インテリア・クステリアの調和についてお伝えした。

**各支部でもジェルこまち活動を通じ  
女性社員を中心とした交流の輪が広がる**

7月に近畿支部、9月に東北支部、10月には北海道支部と中国四国支部、11月には九州・沖縄支部と、各地域において見学会やセミナー、座

談会など支部ごとに趣向を凝らしたイベントを企画・開催した。ジェルこまち本部からも各イベントに特派員が赴き、各支部の女性社員を中心に交流の輪を広げた。

ジェルこまちサイト  
<https://www.jerco.or.jp/komachi/>



中国四国支部はカーテン工場の見学とセミナー・座談会を実施



九州・沖縄支部ではからだのセルフケア講座で心身を健康に

# 命を守る「ひと部屋」の確保を ～なぜジェルコは「ひと部屋断熱」を推進するのか～

## 【1】背景と目的

### 住宅政策・健康政策の新たな動き

医療技術が進歩し平均寿命が延びる一方で、「健康寿命」が伸びなければ、日常生活に制限のある期間が拡大し、結果的に本人の生活の質が低下するだけでなく、介護をする家族の負担も大きくなります。

スマートウェルネス調査の結果も踏まえるとWHOが提唱する「健康のために冬季室温が18℃を下回らないこと、つ

まり一定以上の室温維持が健康上最適である」ということを前提として、厚生労働省が2023年5月に告示した、健康日本21（第三次）では「建築・住宅の分野における取組と積極的に連携することが必要である」と、初めて健康と住環境についての項目が記載されました。現状は高性能住宅の新築や一戸建て全面断熱改修で実現を図っていますが、数百万円や1千万円を超えるような工事費用をかけられる消費者は少ないと思われます。特に高齢者は「寒くても（暑くても）自分が我慢すれば何とかなる」、「今後そんなに長く生きないから住宅に費用をかける必要は無い」と言われる人もいます。

そのような人にも、出来るだけ低コストで健康を担保できる「ひと部屋（長時間居る寝室・居間など）」を家の中のシェルターとして確保してもらうことを目的とし、全ての国民が取り入れやすくすることで健康を維持できる人の増加を図りた



※ 2024年11月「命を守る1部屋」奈良シンポジウム講演慶應義塾大学名誉教授伊香賀俊治氏発表資料より抜粋

いと考えてできたのが「ひと部屋断熱」です。

「ひと部屋だけ断熱をすると、かえってヒートショックが起こる」と言われる人もいます。もちろん住宅一棟丸ごと断熱改修することが理想ですが、高額な全面断熱改修が難しい低所得者や高齢者などの解決策となるのが『ひと部屋断熱』です。

部屋から出る時には一枚上から羽織る、トイレや脱衣場には安価な人感式電気ファンヒーターの設置、浴室は入浴前に暖房や温水シャワーなどで暖めておくなどの“住まい方・暮らし方の工夫”をすることで健康リスクの低い暮らしの実現を図ります。

## 【2】補助金活用で消費者の負担を軽減

ジェルコが提案している「ひと部屋断熱」は消費者の金銭的負担と精神的負担を出来る限り少な

## 『ひと部屋断熱改修』事業の補助の仕組みと利点①～⑥

### 『ひと部屋断熱改修』国民のコスト負担は約2割で実現可能

18℃以上を維持するひと部屋を実現する改修コストは約100～115万円程度  
その約8割を行政が負担（国4割＋自治体4割）で実現します。



#### ①『それぞれの自治体』に合わせた枠組みで運営・推進

●自治体ごとに対象世帯数や住宅業界事情及び住宅政策は異なります。それぞれの実情に沿った枠組みと体制の構築で事業を推進します。

#### ②『国民会議』JERCO』が省庁の政策をサポート

●国の取り組みとして機動的に全国に展開することは困難である為、国民会議及びJERCOが社会貢献のために省庁の政策をサポートします。

#### ③枠組み:三省+自治体+民間の連携事業

●国土交通省・環境省・厚生労働省の三省協力事業であること  
●自治体・民間事業者が分野を超えた連携で『ひと部屋断熱』を支持・提供

#### ④『国民一般消費者』

●健康省エネ住宅を低費用で取得(実費の約2割程度※補助限度額¥700,000-)  
●快適・健康寿命の期間拡大(長く健康に暮らせる)  
●省エネ効果の光熱費削減で可処分所得の増加と豊かな暮らし

#### ⑤『地元事業者』

●ひと部屋断熱改修事業の拡大による地元建築産業の活性化  
●同事業導入による建築スキル向上で地元企業価値の上昇

#### ⑥『地方自治体』

●命を守る健康省エネ住宅に住む住民が増加(医療観点)  
●地元産業の活性化(地域小規模事業者の支援観点)  
●住民の行政サービス利用増加(行政への関心拡大)

くするために考えられた提案であり、断熱工事費用に対して国と地方自治体で最大8割、70万円（国4割、地方自治体4割負担）の補助金と、併用出来る国の補助金（窓リノベ補助金等）を利用した上で、消費者の負担を工事費の2割程度、約20～35万円で「ひと部屋断熱」改修工事を行えるような提案になっています。併せて精神的負担を軽減するため、仮住まいのための引っ越し作業や全体の片付け・整理などが不要無く、住みながらの工事が可能であり、工期も3日程度で完了する工事となっています。

あくまでも全体断熱や、水回りなどを含めた断熱改修を行うことが理想ですが、まずは「ひと部屋」から、という提案です。金銭的に余裕があれば水回り等も順次断熱改修を行うということも消費者に伝える必要はありますが、まずは最低でも「命を守るための「ひと部屋」だけでも断熱改修を勧めたいと思っています。

### [3] これまでの活動と今後の決意

「ひと部屋断熱」の取組は2019年に担当理事のスペースイン矢島社長が仕様を決めシミュレーションを行い、2022年に、健康・省エネ住宅を推進する議員連盟の総会で、健康省エネ住宅を推進する国民会議と共同で説明したのがきっかけで、全国で推進活動が出来るようになりました。

2023年度は全国26箇所で開催したシンポジウムや個別の事業者・地方行政説明を行い、2024年度は更に増やした37箇所で開催した活動を行っています。説明した後に医療・建築関係者、工事实務者、政令指定都市を含む地域行政が2025年度に向かって取り組んでもらえるように今後も全国で推進していきたいと考えています。

所得に関係無く全ての消費者が最低でも命を守る「ひと部屋」を、住まいの中で確保出来るように推進活動をしていきます。

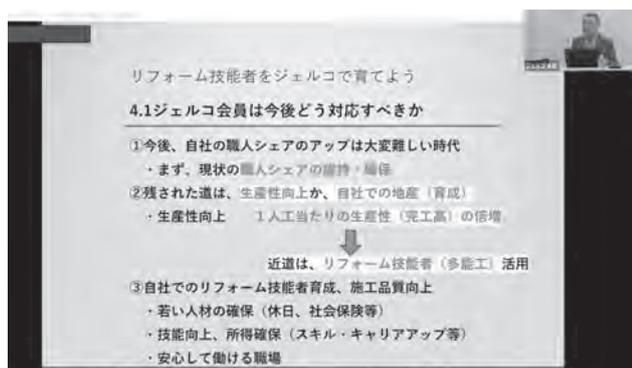
## 「職人大激減時代」解決のカギは二刀流「多能工」 優秀リフォーム技能者についての説明会を開催

### 「大工不足」がシミュレーションで明らかに 「リフォーム技能者」の育成・活用が窮状救う

2024年11月15日（金）、ジェルコ本部会議室において、優秀リフォーム技能者（多能工）の育成・活用に関する勉強会を開催しました。勉強会はリアル＋オンラインで実施。職人不足解決へのヒントを得ようと、約30名が参加しました。

今後ますます厳しくなるリフォーム工事の技能者不足ですが、ジェルコではその対策として、現場で複数の専門技能を使いこなす「リフォーム技能者（多能工）」の活躍の場を広げ、新たな技能者として認知され、育成支援していきたいと思っています。いわば、これからのプロの姿である「二刀流」リフォーム技能者の醸成です。

今年からスタートする優秀リフォーム技能者表彰では、すでに現場で活躍している「リフォーム技能者」の中から優秀な方々を顕彰し、社会的認知を高めて行きたいと思えます。また、今後一段と高い技術・技能が要求されるリフォーム工事に携わる人々の能力向上に資するものと期待しています。今回の勉強会は、今後の「リフォーム技能者」の必要性、実際の仕事内容を考える良い機会となりました。



福原氏は今後の業界での技能者不足への対策を述べた

第一部では、(株)エルエルアイ出版会長の福原正則氏（ジェルコアカデミー副委員長）が、職人不足の現状と打開策について説明。10年後には、今いる大工数が半数になること、地域によって減少率は異なり、1/4となる地域もあること、企業が売上を増やしたくとも職人不足によって完工高にも制限が生じてしまうこと、など衝撃的な事実が語られました。また、今後の対応策としては生産性向上と職人の自社育成するしかなく、職人確保には職場環境の充実も必要で、その第一歩として職人の「リフォーム技能者」化を図ることが必要と提言されました。

### 第二・三部では優秀リフォーム技能者の 育成・活用事例を各社が発表

第二部では(株)アルティザン建築工房社長の新谷孝秀氏（ジェルコアカデミー委員会担当副会長）が、自社の大工さんの複数の役をこなす事例を発表。

同社では、専属となる8名の職人が、大工ならではの知恵と経験で、スムーズな解体工事からキッチンの組み立て、エコカラットの貼付け、玄関ドアの取換え、サイディング貼り、内窓の取付けなど、多岐にわたる作業・工事に係わっている。



新谷氏は自社の多能工大工の活用事例の効果を述べた

## 優秀リフォーム技能者表彰制度について

※制度の詳細はジェルコ HP をご確認ください

### 【募集資格について】

- ・ジェルコ会員の社員技能者（経営者・役員でも OK）
- ・ジェルコ会員のリフォーム物件施工に携わる提携業者（継続的にジェルコ会員企業の施工に携わっていれば専属でなくても OK）
- ・複数の専門職種に関連する技能をお持ちの方（いわゆる多能工としての働きができる方）

### 【推薦・選考方法】

- ・自己推薦・他薦・支部推薦による応募
- ・推薦対象者の所有する資格、および推薦理由を添えて経歴書を作成
- ・応募された対象者から、選考委員会にて最優秀リフォーム技能者を選考
- ・最優秀リフォーム技能者は 2025 年 6 月の表彰式（東京）にご招待

リフォーム業界の新しい匠・二刀流の優秀な職人さんに光を当てられるよう、ジェルコ会員企業の皆様には、ぜひ今回の表彰にご推薦をお願いいたします！

お客様の要望にも柔軟に応える施工で、いわば多能工の理想形を実現できていると述べた。職人さん自身が多能工であることを意識しておらず、上手く協業できているとのことでした。

第三部では(株)テオリアハウスクリニックの平一暁氏（ジェルコアカデミー委員長）が自社の職人育成について発表。シロアリ防除や断熱等の床下工事、インスペクション等を手掛ける同社は従業員の平均年齢が 35 歳と若く、新卒社員を採用し自社職人を育成。3K 職種での新卒社員の定着のため、空き家を使い先輩が後輩に施工研修を実施、また床点検口設置や開口部の補修、内装の施工等の実技訓練を行い多能工の技術を蓄積したことが語られました。さらに断熱の診断見積りや施工、住宅のインスペクション、将来的に窓の取り付けな

ど、通常業務の延長線上で必要に応じて多能工化が進んでいる現状を発表。加えて、施工経験を積んだ社員がコールセンターや DX 推進に携わるなど、施工の枠を超えた多能工が良い方向に機能しているとのことでした。

### 優秀リフォーム技能者表彰を 2025年6月に初めて実施

ジェルコでは今年から優秀リフォーム技能者の表彰を実施する予定であり、事務局よりその報告しました。対象となる技能者はジェルコ会員のリフォーム工事に携わる社員、職人で、大工技能だけでなく、他の職種に関連する技能・経験を持つ方が対象となります。審査を経て、最優秀と認められる方には、2025 年 6 月にジェルコ社員総会と同時開催される表彰式にご招待する予定です。

また表彰制度とは別に、2025 年度以降、ジェルコにより、リフォーム技能者の持つ資格や経験・練度をもとに「リフォーム技能者」の認定制度、およびリフォーム技能者を育成する研修制度の計画があることについてもお伝えしました。

最後に、参加者の皆様がリフォーム技能者への理解を深め、各支部の会員企業から多くの優秀なリフォーム技能者を表彰に推薦いただくことをお願いして、勉強会を終了しました。



平氏は多能工的社員育成と施工の枠を超えた活用を述べた

## ■第36回住生活月間 10月5日に中央イベントを開催

# ジェルコ前会長の盛静男氏 令和6年度の国土交通大臣功労者表彰を受ける！



10月5日に高松で中央イベント合同記念式典を開催



厳かな雰囲気の中で表彰を受ける盛前会長

2024年10月5日、サンメッセ香川（高松市）のサンメッセホールにおいて、第36回住生活月間中央イベント「住まいフェス in 香川」による合同記念式典が執り行われました。

式典に先立ち、住まいフェス in 香川の会場となったサンメッセ香川大展示場において、テープカットセレモニーが行われ、高円宮妃久子殿下が来臨。華やかにイベントの幕開けを迎えました。

住生活月間では毎年、住宅・建築行政に顕著な功績のあった個人・団体について功労者表彰を行っており、本年度は国土交通大臣による個人表彰が21件、団体表彰が6件、また住宅局長による個人表彰が5件、団体表彰が2件あった他、令和6年能登半島地震関係の感謝状が住宅局長より102の団体・個人に贈られました。

今回、ジェルコ前会長の盛静男氏（㈱ゆめや代表取締役）は、公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターからの推薦を受け、国土交通大臣より個人での功労者表彰を受けることとなりました。

なお、ジェルコ関係者としては、山崎相談役（山商リフォームサービス㈱取締役会会長）以来、2年ぶりの功労者表彰となります。



国土交通大臣功労者表彰を受けた壇上にて  
晴れやかな表情で表彰状を掲げる盛前会長

合同記念式典では、高円宮妃久子殿下のご入場に始まり、主催者挨拶の他、国土交通事務次官の吉岡幹夫氏、香川県知事の池田豊人氏が来賓として挨拶。また、住まいのリフォームコンクール表彰、家やまちの絵本コンクール表彰なども実施。その後、功労者表彰が行われ、約2時間弱の式典が終了しました。

なお住まいフェス in 香川では、建設・住宅設備費に関わる団体、事業者が多数ブース出展。またテープカットセレモニーが行われた壇上では多くの一般生活者向けイベントが行われ、会場は多くの家族連れで賑わっていました。

## 2・3・4種会員PRコーナー



断熱 × 耐震

# 性能向上リノベの会®

PERFORMANCE IMPROVEMENT RENOVATION

Supported by YKK AP

### こんなお悩みはありませんか？

- 省エネ計算・温熱計算ができない
- 耐震診断ができない
- 補助金申請が本当に大変...
- リノベーションを相談できる先がない
- コスト管理の危険予測ができない

業務フローに沿って必要なノウハウ・ナレッジを提供！  
ボトルネックになりやすい入り口のフェーズから  
引き渡し後まで、業務をサポート！

性能向上リノベの全業務フローにおいてサポートメニューを提案

事前相談	調査提案	物件契約	設計実務	工事管理	引渡し
顧客のニーズや資金計画、建物状況を基に、性能向上グレードや工事内容等に関する事前判断に必要なポイント。	現場調査から耐震診断、性能向上内容を決定し概算コスト算出。かつ保険や補助金を見込んだ建物状況調査。	顧客の住宅ローンなど資金調達を踏まえ、概算コスト、資金計画を確定するなど物件及び設計契約までのポイント。	リノベーションや性能向上ならではの設計・施工ポイント、耐震診断や省エネ計算、補助金申請など。	解体から施工時の技術ノウハウ、検査チェックポイントの実践ツール提供など。	長期修繕計画やアフターサービス提供の実践ツール提供など。

### 実務に役立つ情報 サポート・ツールが 集まっています！

■お問い合わせ

性能向上リノベの会 事務局 [info\\_pir@ykkap.co.jp](mailto:info_pir@ykkap.co.jp)

■ホームページはこちら

性能向上リノベの会



## 経営から現場まで、 リフォーム業界のDXならANDPAD

導入企業数  
7年連続  
シェア  
**No.1**\*

利用社数  
**20**万社

ユーザー数  
**51**万人

※「建設業マネジメントクラウドサービス市場の動向とベンダシェア（ミックITリポート2024年12月号）」（デロイト トーマック 経済研究所調べ）




### リフォーム工事に役立つ注目の最新機能 /

## ANDPAD サーモ

断熱改修工事の効果を可視化できる  
サーモグラフィ画像が、誰でも簡単に撮影可能





無料プレゼント！

## 「2025年ショック」調査レポート

今すぐ  
ダウンロード



株式会社アンドパッド ご質問・ご相談は、お電話またはメールにてご連絡ください。 ☎ 03-6831-4551 ✉ [info@andpad.jp](mailto:info@andpad.jp) 営業時間 平日 10:00-19:00

ジェルコで行っている様々な活動を上手く取り入れることで、会員様の事業の大きなヒントにつながります。その一例をご紹介します。

## ① 支部会（役員会・定例会など）

ジェルコでは、全国どの支部においても、定例会、支部会、ブロック会、地区会、支部役員会などを定期的に開催しており、会員間の情報交換の場として活用されている他、様々なセミナー、講習会も企画・実施されています。こうした会合やイベントは、会員であればどなたでも参加可能ですので、ジェルコの活動を肌で知ることができます。



## ② 各種セミナー・勉強会

ジェルコの全国8支部では、年間を通じてほぼ毎月様々な活動を行っています。現在は、リアル参加・オンライン参加どちらも可能なハイブリッド形式でのセミナー等を充実させています。

またJメーカー's発信の「メーカー玉手箱」や本部発信の「Welcome JERCO Salon」では、商材紹介やミニセミナー等を行っています。各種イベントの詳細はジェルコのホームページでご紹介しています。



## ③ <住宅リフォームエキスパート> 増改築相談員研修会（新規・更新）

豊富な専門知識をもとに消費者からの相談に対応するプロフェッショナルの証、増改築相談員がリニューアル。資格要件が実務経験5年以上となり、また「住宅リフォームエキスパート」の名称を新たに冠したことで、技術的な信用度をより広くPRできるようになりました。

ジェルコでは全国8支部で、計20回以上の研修会を開催いたします。

開催日程など詳しい情報はジェルコのホームページまたはチラシをご覧ください（<https://www.jerco.or.jp/training/>）。



## ④ ジェルコ総合補償制度と「みんなのミカタ」

ジェルコ独自の工事保険として好評の「ジェルコ総合補償制度」は約120社が加入しており、

- ① 工事中の工事そのものの損害
- ② 工事中の第三者に与えた損害(施主の財物も含む)
- ③ 工事完了引渡し後に施主や第三者に与えた損害
- ④ 工事期間中に工事現場で偶然な事故により工事対象物などに生じた損害

を総合的に補償します。

2019年からは従業員の福利厚生を目的に、日本初！業種団体一括加入の「みんなのミカタ」（団体長期障害所得補償制度）も立上げ、募集をしています。

総合補償制度、「みんなのミカタ」ともに国内トップ水準の保険料率です。随時受け付けていますので、是非参加されることをお勧めします。

## ⑤ ジェルコリフォーム動画

10年後も感謝されるリフォームを目指し、業務品質の向上を図るための動画を初級編（無料）4本、中級編（5,000円/本）8本作成しました。社員研修等にお役立て下さい。

また、半年間見放題プラン（10,000円）も新たに登場しました（<https://www.jerco.or.jp/about/jercoreform/>）。



## ⑥ ジェルコアカデミー

ジェルコアカデミーでは、リフォームに関する総合的な知識を学ぶことができます。

### ① ベーシック講習

ジェルコ会員の行動規範やリフォーム事業者の心構え等を学ぶ「ジェルコ倫理憲章」、適切なリフォーム工事のガイドラインを学ぶ「リフォーム業務品質」からなる2科目のコースで、ジェルコ会員は受講必須となります（<https://www.jerco.or.jp/member/>）。



### ② 住宅リフォーム総合技術者2級講習

実務経験年数の浅い方を対象にした、住宅リフォームに関わる必要知識を幅広く身に付けられる通信方式の資格制度です。募集期間が限られますので、ご案内時に該当ページよりお申込みください。

## ⑧ 企業訪問（ベンチマーク）

ジェルコ創設以来の伝統と言えるのがこのベンチマークです。地域戦略を基本としているリフォーム事業では、エリア外会員の企業訪問を快く受け入れ、ノウハウを提供してくれる会員企業が多く、近年では支部単位でのベンチマーク研修会も増えてきました。

※現在は一部で実施中です。

## ⑦ ジェルコリフォームコンテスト

ジェルコリフォームコンテストのデザイン部門は毎年400点以上の応募があり、全国的にも権威のあるコンテストになりました。また2017年からは経済産業省のバックアップを受け、ビジネスモデル部門を創設しました。さらに2018年にはユーザーフォト部門を新設し、リフォームに関するスナップ写真を対象に賞を贈っています。なおユーザーフォト部門は、オンラインで気軽にご応募いただけます。

### ジェルコ リフォームコンテスト2024 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会



## ⑨ アフタージェルコ（懇親会）

多くの支部では、役員会やセミナーの会合後に懇親会（アフタージェルコ）をセットしています。

ここでは昼間のセミナー等では聞けなかったこと、聞きそびれたことなどを、オープンに聞くことができます。セミナー講師が参加されることも多いので、じっくりと疑問点や問題点を掘り下げて聴くこともできますし、このアフタージェルコから参加される会員もいます。



## 新入会員紹介



### 【東北支部】

(株)共進機材 代表取締役 菅澤 敬子 さん  
宮城県仙台市 第2種会員

共進機材は管工機材、住宅設備機器の販売商社として約50年、宮城県を中心に事業展開しております。建物に必要な商材を多品種そろえており、一般住宅、マンション、ビル、工場などの設備に欠かせない商材を販売しております。

是非抱えているお悩みをお聞かせ下さい。



### 【九州支部】

ZIPScrate (株) 代表取締役 平島 修 さん  
福岡県福岡市 第1種会員

時代とともに多様化する生活感覚や行動様式の変化を敏感に捉え、その変化に柔軟に対応するポジティブなプランニング力で、福岡、東京を中心としたリフォーム・リノベーションの設計施工、営繕工事まで、幅広いご相談に対応し、実現してまいります。



### 【関東甲信越支部】

(株)匠屋 代表取締役 宮澤 和彦 さん  
長野県塩尻市 第2種会員

外壁工事を主として創業後、新築住宅の外壁施工、外壁リフォームなどを手掛けながら事業を拡大。

ドイツの塗り壁材「Sto」と出会い、材料販売をスタート。

北は北海道、南は沖縄まで、全国の施工会社様や住宅会社様に販売・認定講習会を行っております。



### 【中部北陸支部】

(株)ラ・カーサ 取締役 一級建築士 米田 喜正 さん  
愛知県名古屋市

現在のメイン事業は、注文住宅とデザイン経営の視点から提案し施工するクリニックやオフィスなどの商業建築です。

この度、リノベーション事業の強化をしたく入会しました。

お客様に快適な住まいを提供するため、性能向上リノベについて学んでいきたいです。

## 新入会員紹介



### 【関東甲信越支部】

(株) CoLife プラットフォーム営業部 吉澤 瑞樹 さん  
東京都中央区

皆様のリフォーム売上貢献、お客様からのリピート受注拡大なら  
CoLife・イエコンにお任せ！

業界最長の15年設備保証やお客様向けシステム・アプリなど、顧客  
関係構築の実績豊富な当社でサポートいたします。些細なお悩みでも是  
非お聞かせください。



### 【近畿支部】

アイカ工業(株) 大阪支店建装建材カンパニー 課長 前本 誠一 さん  
大阪府大阪市 第3種会員

アイカ工業は、化粧板などの建築材料や接着剤などの化成品を製造・  
販売しているメーカーです。リフォーム関連商材としては、色柄豊富な  
メラミン不燃化粧板や洗面カウンターなどを展開しております。

アイカ工業の公式SNSより、素敵な施工例や商品情報を是非ご確認  
ください。



### 【北海道支部】

(有)仁科建設 取締役専務 仁科 正樹 さん  
北海道帯広市 第1種会員

私たち仁科建設は、北海道帯広市・他周辺地域を中心に、創業55年  
の歴史を持つ地域密着型工務店です。

地元の気候や風土、暮らしのスタイルを深く理解し、お客様一人ひと  
りに最適な住まいをご提案・ご提供しています。“一緒建命”を合言葉に、  
ハウストータルコーディネートを実現いたします。



### 【関東甲信越支部】

(株) LIV 建設 代表取締役 上野 恭平 さん  
神奈川県横浜市

内・外装リフォームを中心としています。リフォームは長年の経年劣  
化で古くなった、使えなくなったものの工事が多く、簡単な工事だけ  
ではなく経験や知識が必要な工事も多いです。

日本の建築技術を守り、お客様にも快適な暮らしを提供するためにも  
様々な技術を学びたいと思い入会しました。

## 新入会員紹介

### 【関東甲信越支部】

(株)豊田 代表取締役 豊田 雅子さん  
埼玉県吉川市 第1種会員



株式会社豊田は、埼玉県吉川市に拠点を置き、創業70年を迎える老舗企業です。LPガス事業や住宅リフォーム事業を柱に、地域密着型のサービスを展開してまいりました。私たちの強みは、自社で経験豊富な職人を抱え、品質管理を徹底した施工を提供することです。

今年は住まいづくりの新たな提案として不動産事業「ゆたか不動産」を立ち上げ、地域の方々に安心して暮らせる住環境を提供する取り組みを進めています。今後も「地域社会の発展と人々の暮らしの向上」に貢献する企業であり続けることを目指してまいります。どうぞお気軽にご相談ください。

### 【近畿支部】

(株)清水設備 代表取締役社長 清水 康弘さん  
兵庫県神戸市 第1種会員



長年培ってきた設備工事の経験を生かし設備機器の交換や新設だけではなく幅広いリフォーム工事に対応始めたことをきっかけにジェルコで、勉強させていただきお客様の要望にお応えしていけるようにしたいと入会しました。

## ■ ジェルコ支部所在地 ■

### ジェルコ 北海道支部事務局

〒001-0901 北海道札幌市北区新琴似1条2丁目5-6  
(株)アルティザン建築工房内

Tel:080-4944-7107 / Fax:011-769-0912

### ジェルコ 東北支部事務局

〒981-0953 宮城県仙台市青葉区西勝山16-40  
(株)オリテック内

Tel:022-725-2510 / Fax:022-725-2562

### ジェルコ 関東甲信越支部・中部北陸支部・沖縄支部事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-7-1 宝ビル本館5F  
Tel:03-5541-6051 / Fax:03-5541-0128

### ジェルコ 近畿支部事務局

〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国1-24-9  
(株)大阪マルカン内

Tel:06-6335-7599 / Fax:06-6392-3855

### ジェルコ 中国四国支部事務局 (株)やまもと住研

〒737-0823 広島県呉市海岸1-4-3  
(株)やまもと住研内

Tel:0823-25-7404 / Fax:0823-25-7404

### ジェルコ 九州支部事務局

〒820-0004 福岡県飯塚市新立岩2-13  
B's Plan内

Tel:0948-22-2929 / Fax:0948-52-6470